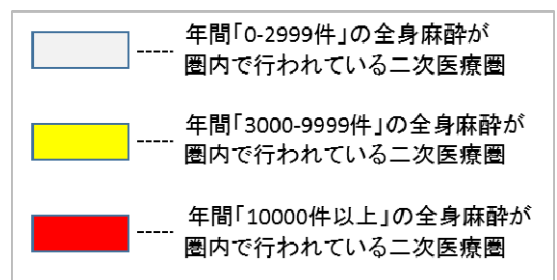
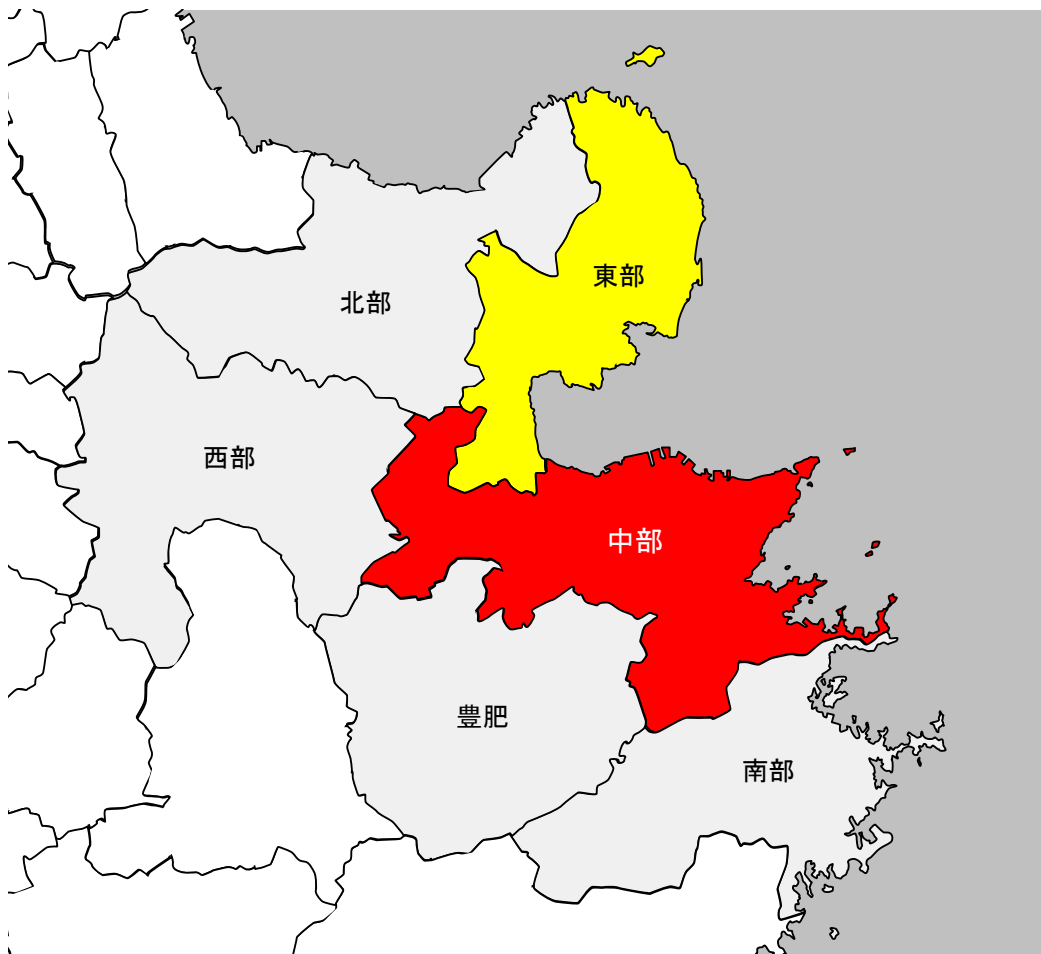


# 44. 大分県



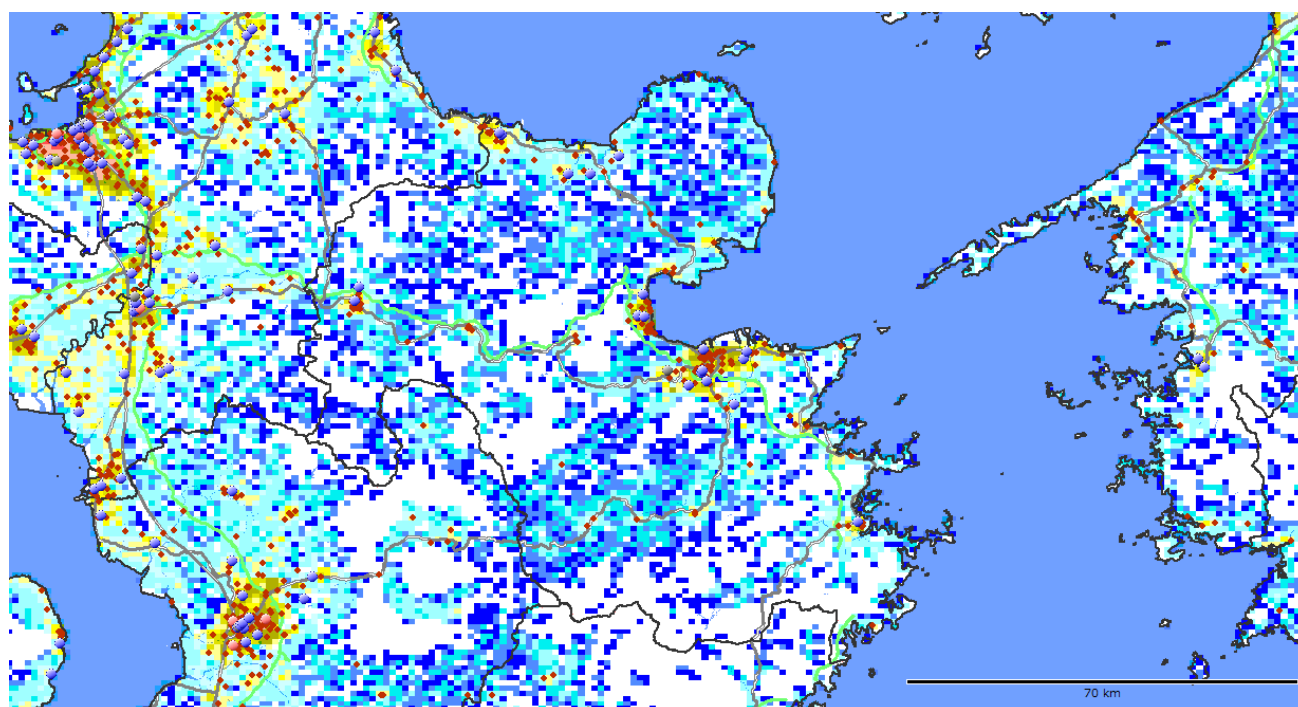
## 44. 大分県

### 目次

大分県.....	44 - 3
資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料.....	44 - 7
1. 東部医療圏.....	44 - 15
2. 中部医療圏.....	44 - 19
3. 南部医療圏.....	44 - 23
4. 豊肥医療圏.....	44 - 27
5. 西部医療圏.....	44 - 31
6. 北部医療圏.....	44 - 35

# 44. 大分県

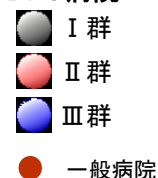
人口分布<sup>1</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



<sup>1</sup> 大分県を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## 44. 大分県

### (大分県) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

#### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 大分県は、総人口約 1169 千人(2015 年推計)、面積 6340 km<sup>2</sup>、人口密度は 184 人/km<sup>2</sup>である。

**\*人口の将来予測：** 大分県の総人口は 2025 年に 1094 千人へと減少し(2015 年比-6%)、2040 年に 955 千人へと減少する(2025 年比-13%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 184 千人が、2025 年にかけて 222 千人へと増加し(2015 年比+21%)、2040 年には 217 千人へと減少する(2025 年比-2%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 大分県の一人当たり医療費(国保)は 372 千円(偏差値 65)、介護給付費は 274 千円(偏差値 56)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

#### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 大分県の一人当たり急性期医療密度指数<sup>2</sup>は 1.24、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.97 で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 54(病院医師数 54、診療所医師数 51)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 66 と非常に多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 63 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 51 と全国平均レベルである。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 49 と療養病床数は全国平均レベルである。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 64 と多く、回復期病床数は偏差値 59 と多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 58 で精神病床数は多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 52 で診療所数は全国平均レベルである。

#### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 大分県の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、16680 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 11294 床(偏差値 52)、高齢者住宅等が 5386 床(偏差値 45)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、14531 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 53)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 56、特別養護老人ホーム 50、介護療養型医療施設 48、有料老人ホーム 44、軽費ホーム 47、グループホーム 48、サ高住 50 である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 55 とやや多く、在宅療養支援病院は偏差値 55 とやや多い。介護職員(在宅)の合計は、3027 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 56)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

<sup>2</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

## 【医療と介護の需要予測】

\*病床機能報告制度による病床機能別病床数と2025年必要病床数(推計)<sup>3</sup>

①合計病床数： 病床機能報告制度による2014年の合計病床数は17246床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は14600床であり、その差は-2646床(-15%)である。

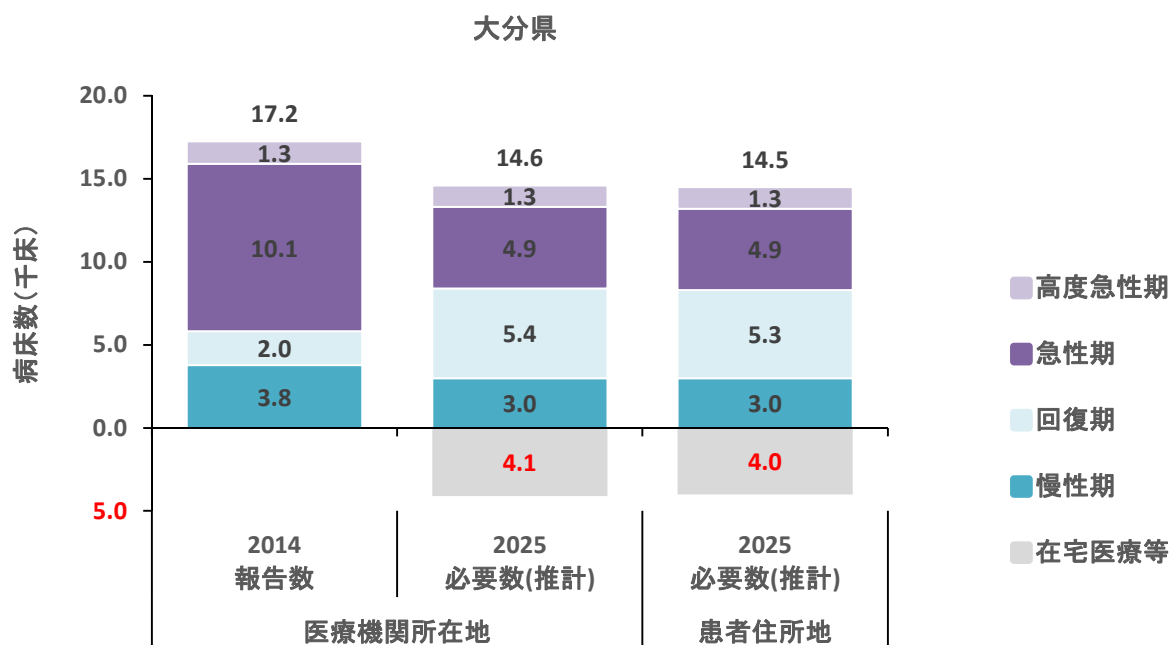
②高度急性期病床数： 高度急性期病床の報告は1346床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は1300床であり、その差は-46床(-3%)である。

③急性期病床数： 急性期病床の報告は10087床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は4900床であり、その差は-5187床(-51%)である。

④回復期病床数： 回復期病床の報告は2037床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は5400床であり、その差は+3363床(+165%)である。

⑤慢性期病床数： 慢性期病床の報告は3776床、2025年の必要病床数(推計)(医療機関所在地)は3000床であり、その差は-776床(-21%)である。

⑥在宅医療等： 2025年の追加対応患者数(推計)(医療機関所在地)は4100人である。



※二次医療圏別必要病床数(推計)は公表された時点で資料編に追加予定

\*介護の2040年の需要予測： 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は-1%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-19%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

<sup>3</sup>必要病床数(推計)は、都道府県については、医療・介護情報の活用による改革の推進に関する専門調査会第1次報告の推計結果。

医療機関所在地ベース：患者の流出入が現状のまま継続するものとして、一定の仮定を置いて推計。患者住所地ベース：患者の流出入がなく、入院が必要な全ての患者は住所地の二次医療圏の医療機関の病床に入院するものとして、一定の仮定を置いて推計。

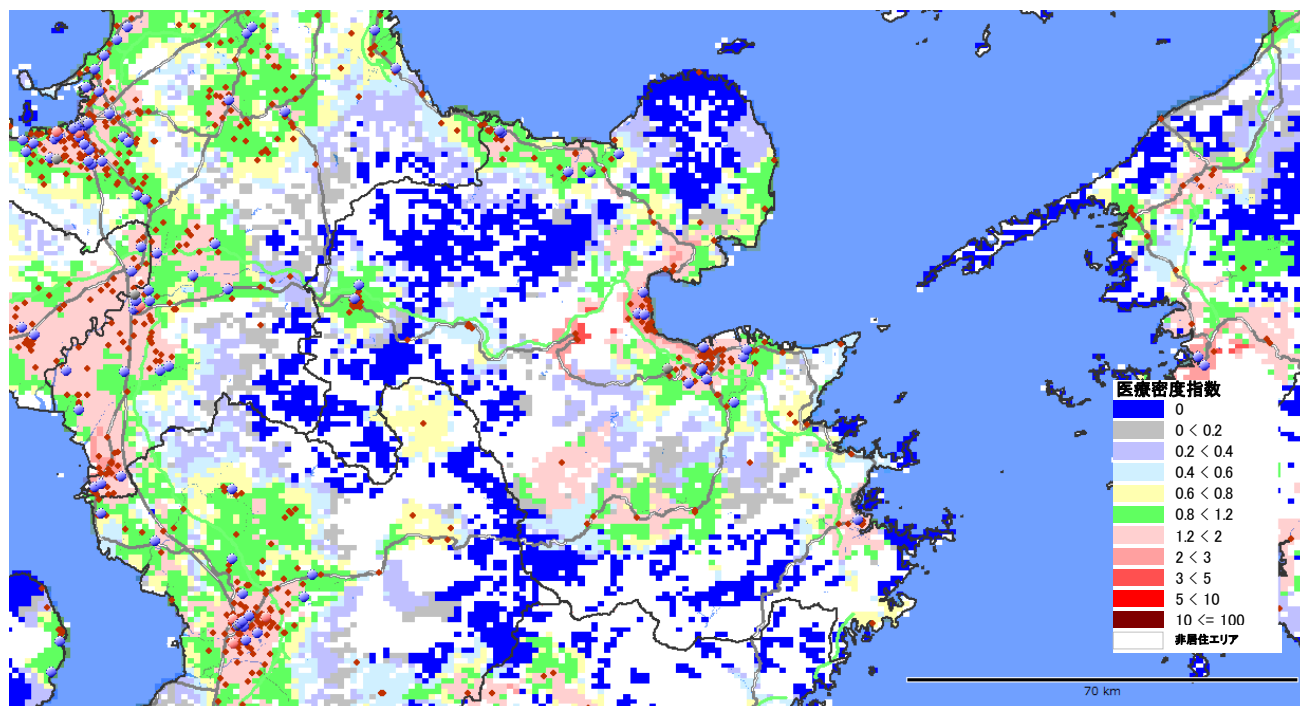
合計病床数には無回答分が含まれているため、合計病床数と各機能別病床数の合計値は合致しない。

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

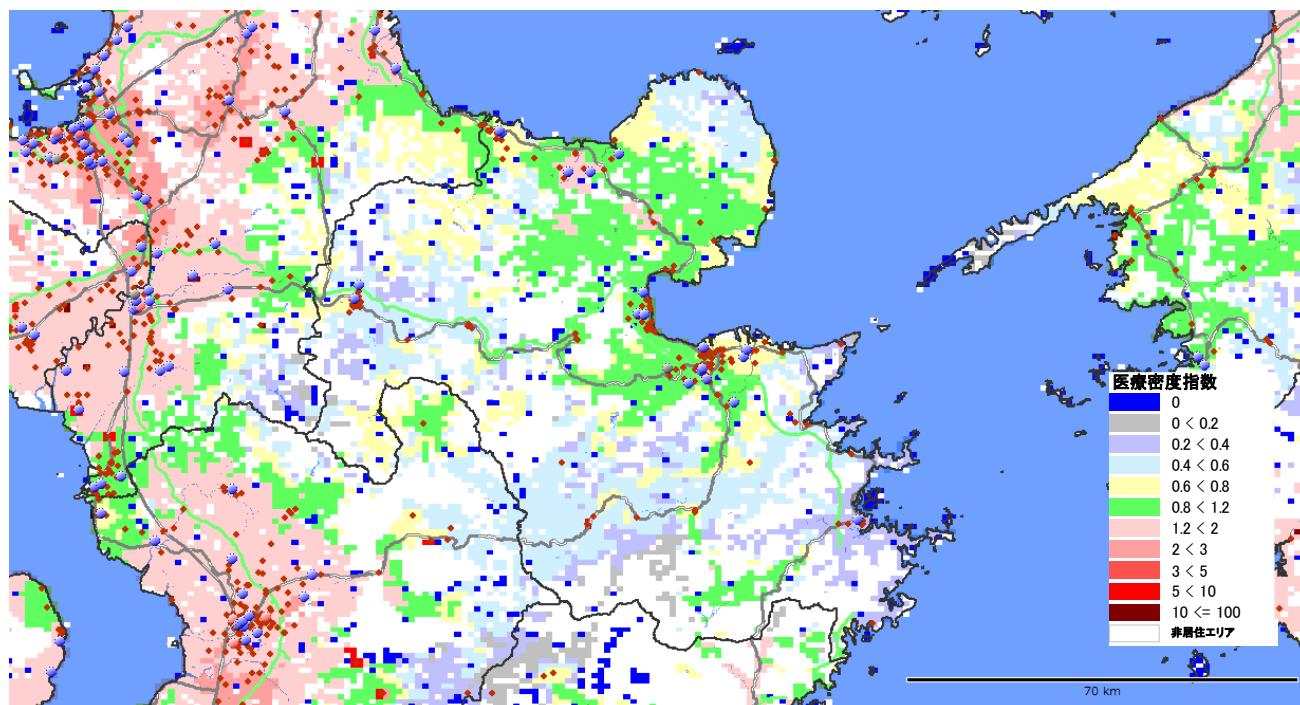
## 44. 大分県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 44-1 急性期医療密度指数マップ



図表 44-2 慢性期医療密度指数マップ



<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

資料編 一 当県ならびに二次医療圏別資料<sup>1</sup>

資\_図表 44-1 地理情報・人口動態

二次医療圏	人口 (単位: 千人)	県内 シェア	面積	県内 シェア	人口 密度	地域タイプ	高齢 化率	2025年 総人口 (単位: 千人)	2040年 総人口 (単位: 千人)	2015年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2025年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2040年 75歳以上 人口 (単位: 千人)	2015→ 25年 総人口 増減率	2025→ 40年 総人口 増減率	2015→ 25年 75歳以上 人口 増減率	2025→ 40年 75歳以上 人口 増減率
全国	126,661		372,903		339.7		27%	120,700	107,439	16,459	21,775	22,232	-5%	-11%	32%	2%
大分県	1,169	33位	6,340	22位	184.5		30%	1,094	955	184	222	217	-6%	-13%	21%	-2%
東部	212	18%	803	13%	264.5	地方都市型	33%	195	167	37	42	38	-8%	-14%	14%	-10%
中部	570	49%	1,191	19%	478.3	地方都市型	26%	553	504	72	99	106	-3%	-9%	38%	7%
南部	73	6%	904	14%	80.6	過疎地域型	37%	64	50	15	16	15	-12%	-22%	7%	-6%
豊肥	59	5%	1,081	17%	55.0	過疎地域型	43%	51	39	16	15	13	-14%	-24%	-6%	-13%
西部	93	8%	1,224	19%	76.0	過疎地域型	34%	82	66	17	19	18	-12%	-20%	12%	-5%
北部	162	14%	1,137	18%	142.5	過疎地域型	31%	150	129	27	30	28	-7%	-14%	11%	-7%
出典	<人口、75歳以上人口(2015年、2025年、2040年)>日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成25年3月 <面積>都道府県・市区町村別主要統計表 総務省統計局 平成22年															

資\_図表 44-2 一人当たり医療密度指数、介護充足度指数

二次医療圏	一人当たり 急性期医療 密度指数	一人当たり 慢性期医療 密度指数	75歳以上介護充足度指数 (%)		
			2015年	2025年	2040年
全国	1.00	1.00	0.0%	-32.3%	-32.8%
大分県	1.24	0.97	-0.9%	-21.4%	-18.9%
東部	1.80	0.59	10.2%	-2.3%	8.4%
中部	1.28	1.12	-14.6%	-56.8%	-68.1%
南部	1.05	0.97	-8.0%	-21.3%	-9.4%
豊肥	0.87	1.13	-0.8%	1.0%	15.9%
西部	0.76	1.28	-15.8%	-24.6%	-17.4%
北部	0.86	1.27	-2.3%	-12.8%	-4.7%
出典	<一人当たり急性期医療密度指数><一人当たり慢性期医療密度指数>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0が全国平均。0.8を下回ると少ない、0.6を下回ると非常に少ない、1.2以上充実、1.5以上非常に充実。 <75歳以上介護充足度指数>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。				

<sup>1</sup>日医総研 WP no.323 「地域の医療提供体制の現状と将来・都道府県別・二次医療圏別データ集(2014年度版)を更新。ウェルネス・二次医療圏データベースシステム使用。

44. 大分県

資\_図表 44-3 医療費、介護給付費<sup>2</sup>

二次医療圏	一人あたり 医療費 (国保のみ) (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差	被保険者 一人あたり 介護給付費 (単位:千円)	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	310	(42)	250	(37)
大分県	372	65	274	56
東部	359	62	270	55
中部	399	71	265	54
南部	349	60	275	57
豊肥	406	73	334	73
西部	349	59	279	58
北部	388	69	270	55
出典	<一人あたり医療費>平成24年度医療費の地域差分析 厚生労働省 <一人あたり介護給付費>平成25年度介護保険事業状況報告(年報) 平成25年度累計(平成25年3月サービス分から平成26年2月サービス分まで)			

資\_図表 44-4 病院数、診療所数

二次医療圏	病院数				診療所数			
	病院数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	8,540		6.7	(4.2)	100,528		79	(19.6)
大分県	158	1.9%	13.5	66	970	1.0%	83	52
東部	36	23%	16.9	74	187	19%	88	54
中部	62	39%	10.9	60	460	47%	81	51
南部	8	5%	11.0	60	59	6%	81	51
豊肥	7	4%	11.8	62	57	6%	96	58
西部	21	13%	22.6	88	78	8%	84	52
北部	24	15%	14.8	69	129	13%	80	50
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資\_図表 44-5 診療所数 (全体、無床、有床)

二次医療圏	診療所数 (再掲)				無床 診療所数				有床 診療所数			
	診療所数 (再掲)	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	無床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	有床 診療所数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	100,528		79	(19.6)	91,279		72	(19.0)	9,249		7.3	(7.0)
大分県	970	1.0%	83	52	696	0.8%	60	43	274	3.0%	23.4	73
東部	187	19%	88	54	130	19%	61	44	57	21%	26.8	78
中部	460	47%	81	51	334	48%	59	43	126	46%	22.1	71
南部	59	6%	81	51	46	7%	63	45	13	5%	17.9	65
豊肥	57	6%	96	58	41	6%	69	48	16	6%	26.9	78
西部	78	8%	84	52	51	7%	55	41	27	10%	29.0	81
北部	129	13%	80	50	94	14%	58	43	35	13%	21.6	71
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

<sup>2</sup>複数医療圏にまたがる広域連合の医療費・介護費については、構成市町村の医療圏毎の75歳以上人口比で案分した上で、二次医療圏単位で集計している。



資\_図表 44-6 病院総病床数、診療所病床数

二次医療圏	病院 総病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病院+ 診療所 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,573,772		1,243	(510)	121,342		96	(111)	1,695,114		1,338	(576)
大分県	20,076	1.3%	1,717	59	4,116	3.4%	352	73	24,192	1.4%	2,069	63
東部	4,704	23%	2,214	69	865	21%	407	78	5,569	23%	2,621	72
中部	9,099	45%	1,597	57	1,909	46%	335	72	11,008	46%	1,932	60
南部	1,250	6%	1,717	59	157	4%	216	61	1,407	6%	1,933	60
豊肥	873	4%	1,468	54	257	6%	432	80	1,130	5%	1,900	60
西部	1,614	8%	1,735	60	379	9%	407	78	1,993	8%	2,142	64
北部	2,536	13%	1,565	56	549	13%	339	72	3,085	13%	1,904	60
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				病院総病床数と診療所病床数の合計			

資\_図表 44-7 病院病床数（一般病床、療養病床、精神病床）

二次医療圏	一般 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	療養 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	精神 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	897,380		708	(232)	328,195		259	(213)	339,780		268	(219)
大分県	11,846	1.3%	1,013	63	2,893	0.9%	247	49	5,247	1.5%	449	58
東部	2,767	23%	1,302	76	1,029	36%	484	61	850	16%	400	56
中部	5,573	47%	978	62	660	23%	116	43	2,850	54%	500	61
南部	814	7%	1,118	68	252	9%	346	54	180	3%	247	49
豊肥	500	4%	841	56	157	5%	264	50	212	4%	357	54
西部	757	6%	814	55	286	10%	307	52	567	11%	609	66
北部	1,435	12%	886	58	509	18%	314	53	588	11%	363	54
出典	平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月				平成25年医療施設調査 厚生労働省 平成25年10月			

資\_図表 44-8 回復期リハビリ病棟病床数と地域包括ケア病棟病床数<sup>3</sup>

二次医療圏	回復期 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	地域包括 ケア 病床数	県内 シェア	人口 10万 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	74,508		59	(46)	21,119		36	(44)
大分県	1,152	1.5%	99	59	740	3.5%	63	56
東部	324	28%	152	70	195	26%	92	63
中部	503	44%	88	56	322	44%	57	55
南部	133	12%	183	77	45	6%	62	56
豊肥	25	2%	42	46	42	6%	71	58
西部	101	9%	109	61	20	3%	21	47
北部	66	6%	41	46	116	16%	72	58
出典	地方厚生局データを活用した全国回復期 リハビリテーション病棟連絡協議会の独 自調査 平成27年3月				地方厚生局データを活用した地域包括ケ ア病棟協会の独自調査 平成27年5月			

<sup>3</sup>福岡県・近畿厚生局、近畿厚生局のデータは入手できていないため、合計値には含んでいない。人口あたり病床数（全国値）の算出にあたっては、データを入手できていない地域の人口は除外して計算している。

44. 大分県

資\_図表 44-9 全身麻酔件数、分娩件数（年間）

二次医療圏	全身麻酔件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	分娩件数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	2,577,228		2,035	(946)	1,062,024		838	(291)
大分県	24,768	1.0%	2,118	51	11,880	1.1%	1,016	56
東部	5,208	21%	2,451	54	2,736	23%	1,288	65
中部	14,916	60%	2,618	56	5,820	49%	1,022	56
南部	660	3%	907	38	348	3%	478	38
豊肥	564	2%	948	39	420	4%	706	45
西部	1,020	4%	1,096	40	1,140	10%	1,225	63
北部	2,400	10%	1,481	44	1,416	12%	874	51
出典	平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資\_図表 44-10 医師数（総数、病院医師数、診療所医師数）

二次医療圏	総医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病院医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所医師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	328,427		259	(89)	206,659		163	(65)	121,769		96	(30)
大分県	3,396	1.0%	290	54	2,249	1.1%	192	54	1,147	0.9%	98	51
東部	704	21%	332	58	480	21%	226	60	225	20%	106	53
中部	1,802	53%	316	56	1,245	55%	219	58	558	49%	98	51
南部	166	5%	228	46	106	5%	146	47	60	5%	82	45
豊肥	134	4%	226	46	71	3%	119	43	63	6%	106	53
西部	211	6%	227	46	131	6%	141	47	80	7%	86	47
北部	379	11%	234	47	216	10%	134	45	162	14%	100	51
出典	病院医師数と診療所医師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資\_図表 44-11 看護師数（総数、病院看護師数、診療所看護師数）

二次医療圏	総看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	病院看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	診療所看護師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,070,056		845	(286)	889,314		702	(241)	180,742		143	(74)
大分県	15,188	1.4%	1,299	66	11,818	1.3%	1,011	63	3,369	1.9%	288	70
東部	3,386	22%	1,593	76	2,745	23%	1,292	74	641	19%	302	71
中部	7,204	47%	1,265	65	5,541	47%	973	61	1,664	49%	292	70
南部	938	6%	1,288	65	794	7%	1,091	66	144	4%	198	57
豊肥	679	4%	1,142	60	490	4%	824	55	189	6%	318	74
西部	1,137	7%	1,222	63	828	7%	890	58	308	9%	331	75
北部	1,844	12%	1,138	60	1,421	12%	877	57	423	13%	261	66
出典	病院看護師数と診療所看護師数の合計				平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成23年医療施設調査 厚生労働省 平成23年10月			

資\_図表 44-12 総療法士数と薬剤師数

二次医療圏	総療法士数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	薬剤師数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	111,708		88	(49)	280,052		221	(94)
大分県	1,823	1.6%	156	64	2,136	0.8%	183	46
東部	433	24%	204	73	383	18%	180	46
中部	853	47%	150	62	1,124	53%	197	47
南部	132	7%	181	69	134	6%	184	46
豊肥	91	5%	153	63	95	4%	160	43
西部	134	7%	143	61	145	7%	156	43
北部	180	10%	111	55	255	12%	157	43
出典	平成25年病院報告 厚生労働省 平成25年10月				平成24年医師・歯科医師・薬剤師調査 厚生労働省 平成24年12月			

資\_図表 44-13 在宅医療施設数（在宅療養支援診療所、在宅療養支援病院）

二次医療圏	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	14,364		0.9	(0.5)	1,027		0.1	(0.1)
大分県	201	1.4%	1.1	55	17	1.7%	0.1	55
東部	42	21%	1.1	56	5	29%	0.1	62
中部	118	59%	1.6	67	7	41%	0.1	56
南部	5	2%	0.3	38	0	0%	0	39
豊肥	14	7%	0.9	51	2	12%	0.1	61
西部	6	3%	0.3	38	1	6%	0.1	49
北部	16	8%	0.6	44	2	12%	0.1	52
出典	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月				届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成26年11月			

資\_図表 44-14 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,572,585		96	(16)	966,631		59	(13)	605,954		37	(14)
大分県	16,680	1.1%	90	47	11,294	1.2%	61	52	5,386	0.9%	29	45
東部	3,952	24%	107	57	2,479	22%	67	57	1,473	27%	40	52
中部	6,218	37%	86	44	4,055	36%	56	48	2,163	40%	30	45
南部	1,285	8%	88	45	852	8%	58	49	433	8%	30	45
豊肥	1,270	8%	82	42	1,058	9%	68	57	212	4%	14	34
西部	1,346	8%	77	39	1,062	9%	61	52	284	5%	16	36
北部	2,609	16%	95	50	1,788	16%	65	55	821	15%	30	45
出典	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計				老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計				有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住の合計			

44. 大分県

資\_図表 44-15 老人保健施設（老健）定員数、特別養護老人ホーム（特養）定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設（老健）				特別養護老人ホーム（特養）				介護療養病床数			
	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	病床数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	357,540		22	(5.7)	539,475		33	(10.2)	69,616		4.2	(4.2)
大分県	4,672	1.3%	25	56	5,959	1.1%	32	50	663	1.0%	3.6	48
東部	923	20%	25	56	1,249	21%	34	51	307	46%	8.3	60
中部	1,771	38%	24	55	2,206	37%	30	48	78	12%	1.1	43
南部	358	8%	24	55	494	8%	34	51	0	0%	0	40
豊肥	502	11%	32	68	499	8%	32	49	57	9%	3.7	49
西部	409	9%	23	53	596	10%	34	51	57	9%	3.3	48
北部	709	15%	26	57	915	15%	33	51	164	25%	6.0	54
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 44-16 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム				軽費ホーム				グループホーム			
	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	209,255		12.7	(10.0)	20,481		1.2	(1.9)	186,381		11.3	(5.6)
大分県	1,232	0.6%	6.7	44	120	0.6%	0.7	47	1,894	1.0%	10.3	48
東部	430	35%	11.7	49	100	83%	2.7	58	333	18%	9.0	46
中部	471	38%	6.5	44	20	17%	0.3	45	772	41%	10.7	49
南部	66	5%	4.5	42	0	0%	0	43	180	10%	12.3	52
豊肥	0	0%	0	37	0	0%	0	43	203	11%	13.1	53
西部	71	6%	4.1	41	0	0%	0	43	117	6%	6.7	42
北部	194	16%	7.1	44	0	0%	0	43	289	15%	10.6	49
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 44-17 サービス付き高齢者専用賃貸住宅（サ高住）定員数

二次医療圏	サ高住（全施設）				サ高住（特定施設）				サ高住（非特定施設）			
	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	定員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	189,837		11.5	(6.2)	9,386		0.6	(1.2)	180,451		11.0	(5.9)
大分県	2,140	1.1%	11.6	50	86	0.9%	0.5	49	2,054	1.1%	11.1	50
東部	610	29%	16.6	58	86	100%	2.3	64	524	26%	14.2	56
中部	900	42%	12.4	51	0	0%	0	45	900	44%	12.4	52
南部	187	9%	12.7	52	0	0%	0	45	187	9%	12.7	53
豊肥	9	0%	0.6	32	0	0%	0	45	9	0%	0.6	32
西部	96	4%	5.5	40	0	0%	0	45	96	5%	5.5	41
北部	338	16%	12.4	51	0	0%	0	45	338	16%	12.4	52
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 44-18 介護サービス従事看護師数（介護施設、訪問看護）

二次医療圏	介護サービス従事看護師数				看護師数（施設）				看護師数（訪問）			
	介護サービス従事看護師数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （施設）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	看護師数 （訪問）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	153,515		9.3	(2.5)	116,114		7.1	(2.3)	37,402		2.3	(0.8)
大分県	2,035	1.3%	11.0	57	1,556	1.3%	8.4	56	479	1.3%	2.6	54
東部	503	25%	13.7	67	385	25%	10.4	65	119	25%	3.2	62
中部	753	37%	10.4	54	522	34%	7.2	51	231	48%	3.2	61
南部	121	6%	8.3	46	98	6%	6.7	48	23	5%	1.6	41
豊肥	180	9%	11.6	59	157	10%	10.1	63	23	5%	1.5	40
西部	141	7%	8.1	45	117	7%	6.7	48	25	5%	1.4	39
北部	336	17%	12.3	62	277	18%	10.1	63	59	12%	2.1	48
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 44-19 介護サービス従事介護職員数（介護施設等、在宅介護）

二次医療圏	介護サービス従事介護職員数				介護職員数（介護施設等）				介護職員数（在宅）			
	介護サービス従事介護職員数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 （介護施設等）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	介護職員数 （在宅）	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	1,449,644		88	(15.7)	1,230,764		75	(14.6)	218,879		13.3	(5.4)
大分県	17,558	1.2%	95	55	14,531	1.2%	79	53	3,027	1.4%	16.4	56
東部	3,356	19%	91	52	2,885	20%	78	52	471	16%	12.8	49
中部	7,452	42%	103	59	6,022	41%	83	56	1,430	47%	19.7	62
南部	1,360	8%	93	53	1,084	7%	74	49	276	9%	18.8	60
豊肥	1,479	8%	95	55	1,257	9%	81	54	222	7%	14.3	52
西部	1,487	8%	85	48	1,280	9%	73	49	207	7%	11.9	47
北部	2,423	14%	89	50	2,003	14%	73	49	420	14%	15.4	54
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

資\_図表 44-20 在宅医療・介護サービス利用者数（月間）

二次医療圏	在宅医療利用者数				訪問看護利用者数				訪問介護利用者数			
	在宅医療利用者数	全国シェア 県内シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問看護利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差	訪問介護利用者数	全国 シェア 県内 シェア	75歳以上 1,000人 当り	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	733,366		45	(24)	349,081		21	(9)	1,423,393		86	(30)
大分県	7,665	1.0%	42	49	2,876	0.8%	16	44	15,454	1.1%	84	49
東部	1,347	18%	37	47	628	22%	17	45	2,639	17%	72	45
中部	3,996	52%	55	54	1,284	45%	18	46	6,678	43%	92	52
南部	529	7%	36	46	292	10%	20	49	1,513	10%	103	55
豊肥	331	4%	21	40	205	7%	13	41	1,146	7%	74	46
西部	242	3%	14	37	150	5%	9	36	1,115	7%	64	43
北部	1,220	16%	45	50	317	11%	12	40	2,363	15%	86	50
出典	平成27年4月 都道府県介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの											

#### 44. 大分県

資\_図表 44-21 公的病院病床数、民間病院病床数

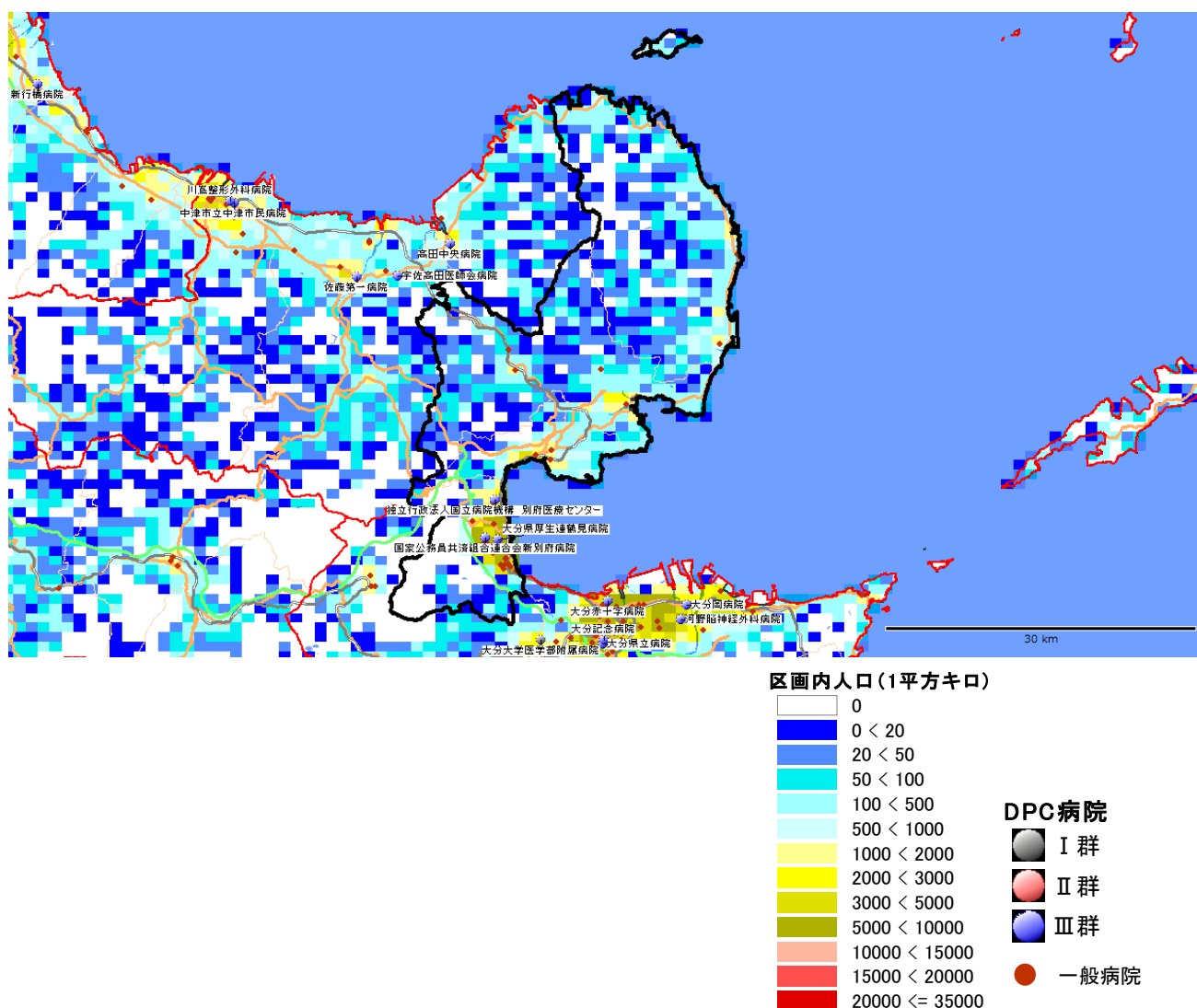
二次医療圏	公的病院			民間病院			一般病床		療養病床	
	総病床数	一般病床数	療養病床数	総病床数	一般病床数	療養病床数	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差	公的病院 病床数 の比率	偏差値 *全国は 標準偏差
全国	549,932	467,163	29,302	1,011,492	427,742	293,995	52.2%	(24%)	9.1%	(23%)
大分県	5,257	4,675	430	14,706	7,096	2,425	39.7%	45	15.1%	53
東部	2,121	1,743	280	2,583	1,048	725	62.5%	54	27.9%	58
中部	2,183	2,030	111	6,856	3,439	593	37.1%	44	15.8%	53
南部	260	256	0	990	575	235	30.8%	41	0.0%	46
豊肥	199	156	39	674	344	118	31.2%	41	24.8%	57
西部	204	200	0	1,357	543	247	26.9%	40	0.0%	46
北部	290	290	0	2,246	1,147	507	20.2%	37	0.0%	46
出典	地方厚生局届出受理名簿平成27年5月公表データをもとに株式会社ウェルネスが集計(一部、ウェルネス独自調査含む) 公的病院はここでは、開設者が国もしくは都道府県、市町村、地方行政法人、その他の公的医療機関(日赤など)としている。									

# とうぶ

## 44-1. 東部医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> 別府市, 杵築市, 国東市, 姫島村, 日出町

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 東部医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000 人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000 ~10,000 人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000 人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## 44. 大分県

### (東部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

#### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 東部(別府市)は、総人口約 212 千人(2015 年推計)、面積 803 km<sup>2</sup>、人口密度は 265 人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 東部の総人口は 2025 年に 195 千人へと減少し(2015 年比-8%)、2040 年に 167 千人へと減少する(2025 年比-14%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 37 千人が、2025 年にかけて 42 千人へと増加し(2015 年比+14%)、2040 年には 38 千人へと減少する(2025 年比-10%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 東部の一人当たり医療費(国保)は 359 千円(偏差値 62)、介護給付費は 270 千円(偏差値 55)であり、医療費は高く、介護給付費はやや高い。

#### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 東部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 1.8、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.59 で、急性期の医療はかなり余裕があるが、慢性期の医療はかなり少ない。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 58(病院医師数 60、診療所医師数 53)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は 76 と非常に多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 76 で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は 54 とやや多い。東部には、年間全身麻酔件数が 1000 例以上の別府医療センター、500 例以上の大分県厚生連鶴見病院、新別府病院(救命)がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 61 と療養病床数は多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 73 と非常に多く、回復期病床数は偏差値 70 と非常に多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 56 で精神病床数は多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 54 で診療所数はやや多い。

#### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 東部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3952 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 57)と全国平均レベルを上回る。そのうち、介護保険施設の定員が 2479 床(偏差値 57)、高齢者住宅等が 1473 床(偏差値 52)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回り、高齢者住宅系は全国平均レベルである。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2885 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 52)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 56、特別養護老人ホーム 51、介護療養型医療施設 60、有料老人ホーム 49、軽費ホーム 58、グループホーム 46、サ高住 58 である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 56 と多く、在宅療養支援病院は偏差値 62 と多

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実



い。介護職員（在宅）の合計は、471人(75歳以上1000人当たりの偏差値49)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：**現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は+10%であり、介護の充足度は高い。2040年の介護充足度指数は+8%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

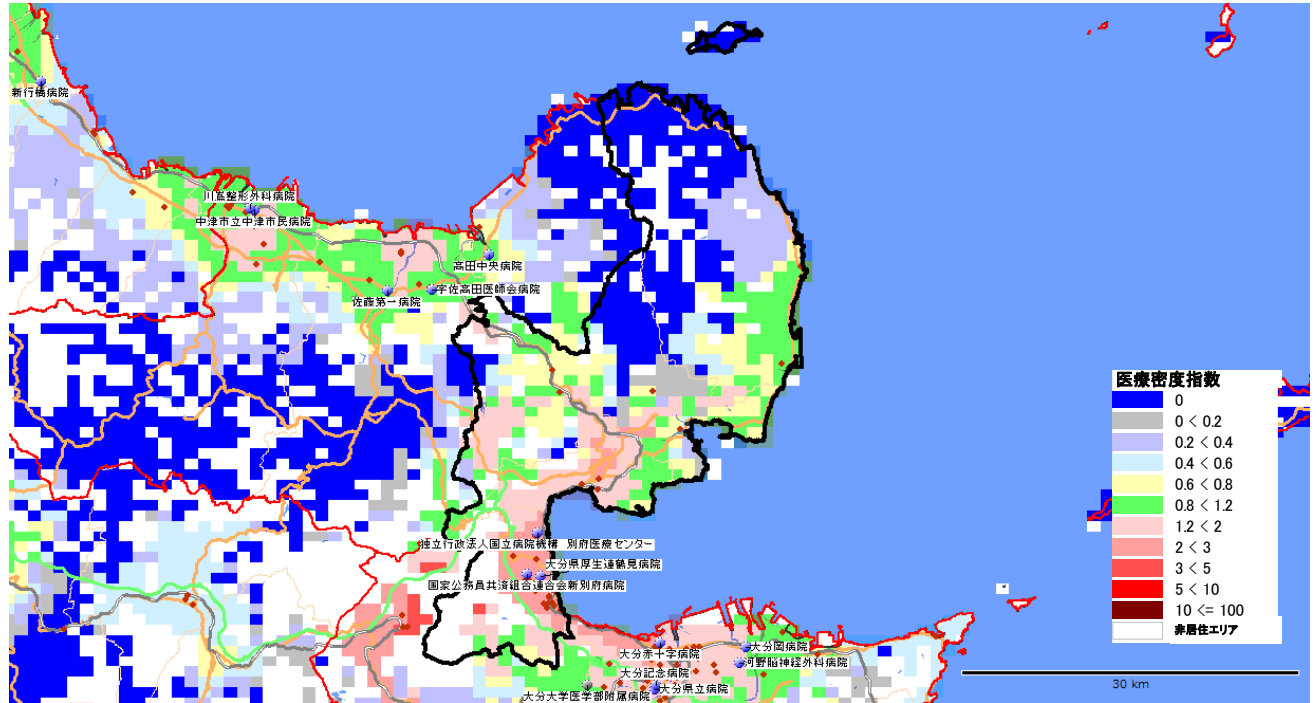
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

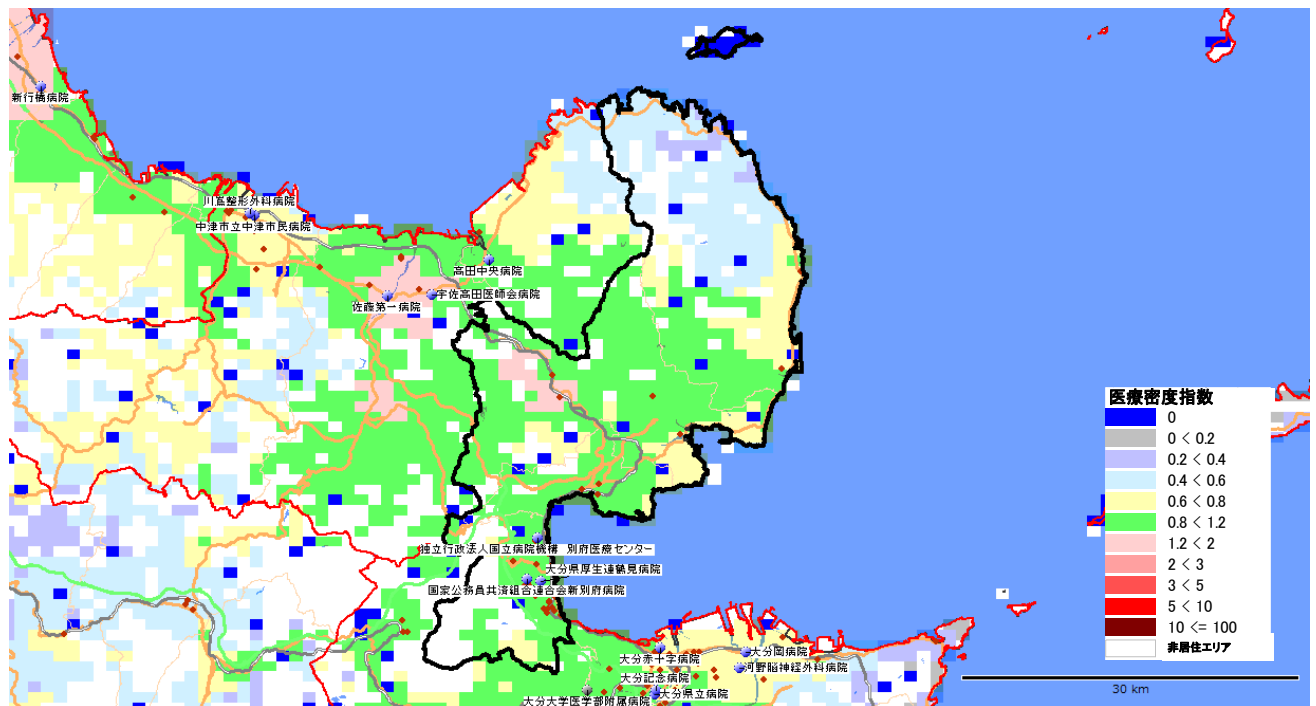
## 44. 大分県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 44-1-1 急性期医療密度指数マップ



図表 44-1-2 慢性期医療密度指数マップ

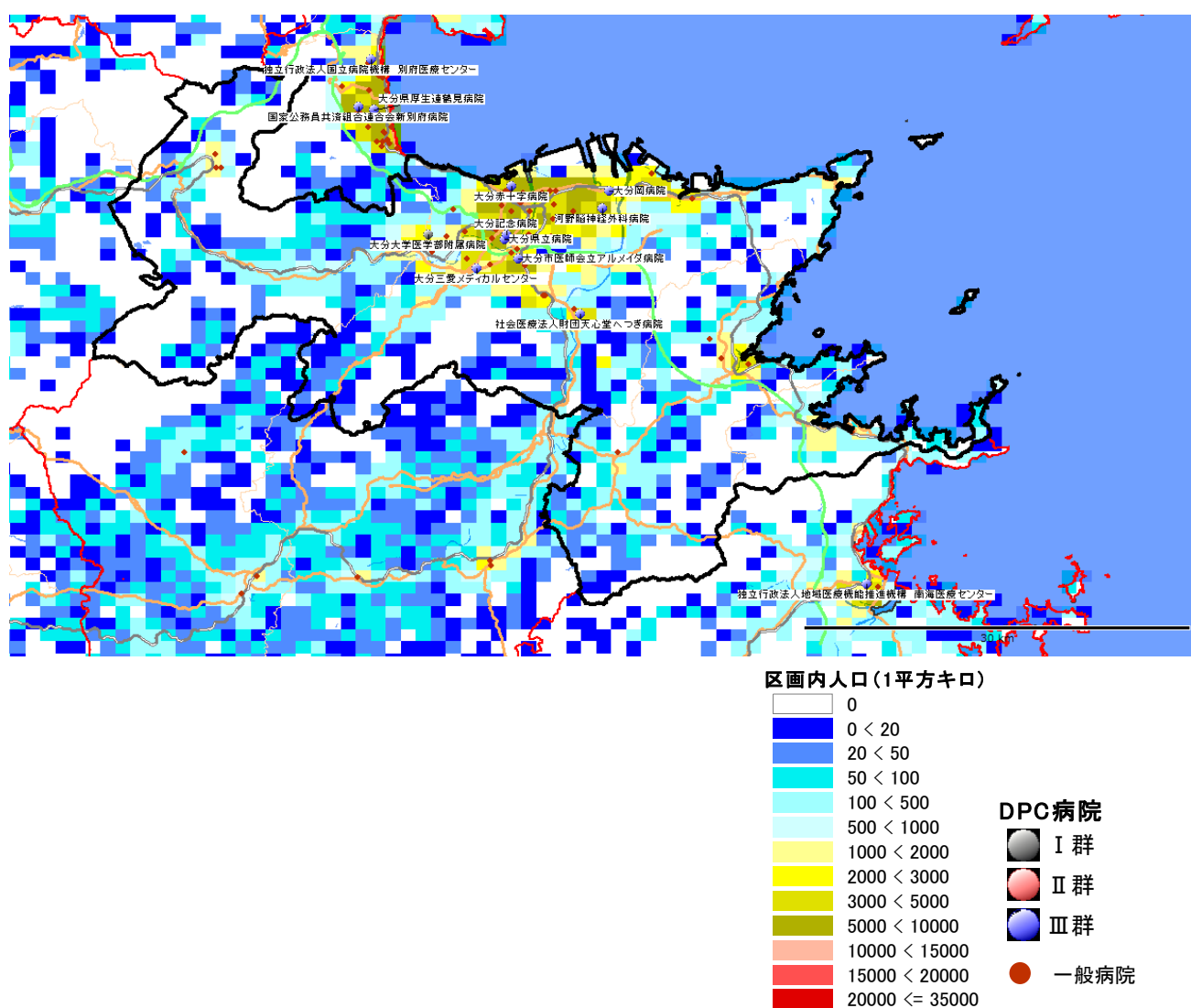


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

## ちゅうぶ 44-2. 中部医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> [大分市](#), [臼杵市](#), [津久見市](#), [由布市](#)

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 中部医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## 44. 大分県

### (中部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

#### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 中部(大分市)は、総人口約 570 千人(2015 年推計)、面積 1191 km<sup>2</sup>、人口密度は 478 人/km<sup>2</sup>の地方都市型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 中部の総人口は 2025 年に 553 千人へと減少し(2015 年比-3%)、2040 年に 504 千人へと減少する(2025 年比-9%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 72 千人が、2025 年にかけて 99 千人へと増加し(2015 年比+38%)、2040 年には 106 千人へと増加する(2025 年比+7%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 中部の一人当たり医療費(国保)は 399 千円(偏差値 71)、介護給付費は 265 千円(偏差値 54)であり、医療費は非常に高く、介護給付費はやや高い。

#### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 中部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 1.28、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.12 で、急性期の医療は充実しているが、慢性期の医療は全国平均レベルである。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 56(病院医師数 58、診療所医師数 51)と、総医師数、病院医師数ともに多い。総看護師数の偏差値は 65 と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 62 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 56 と多い。中部には、年間全身麻酔件数が 2000 例以上の大分県立病院(救命)、大分大学医学部附属病院(I 群・救命)、1000 例以上の大分市医師会立アルメイダ病院(救命)、大分赤十字病院、がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 43 と療養病床数は少ない。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 62 と多く、回復期病床数は偏差値 56 と多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 61 で精神病床数は多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 51 で診療所数は全国平均レベルである。

#### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 中部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、6218 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 44)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 4055 床(偏差値 48)、高齢者住宅等が 2163 床(偏差値 45)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、6022 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 56)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 55、特別養護老人ホーム 48、介護療養型医療施設 43、有料老人ホーム 44、軽費ホーム 45、グループホーム 49、サ高住 51 である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 67 と非常に多く、在宅療養支援病院は偏差値 56

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

と多い。介護職員（在宅）の合計は、1430人（75歳以上1000人当たりの偏差値62）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：**現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は-15%であり、介護の充足度は低い。2040年の介護充足度指数は-68%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、非常に多くの高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

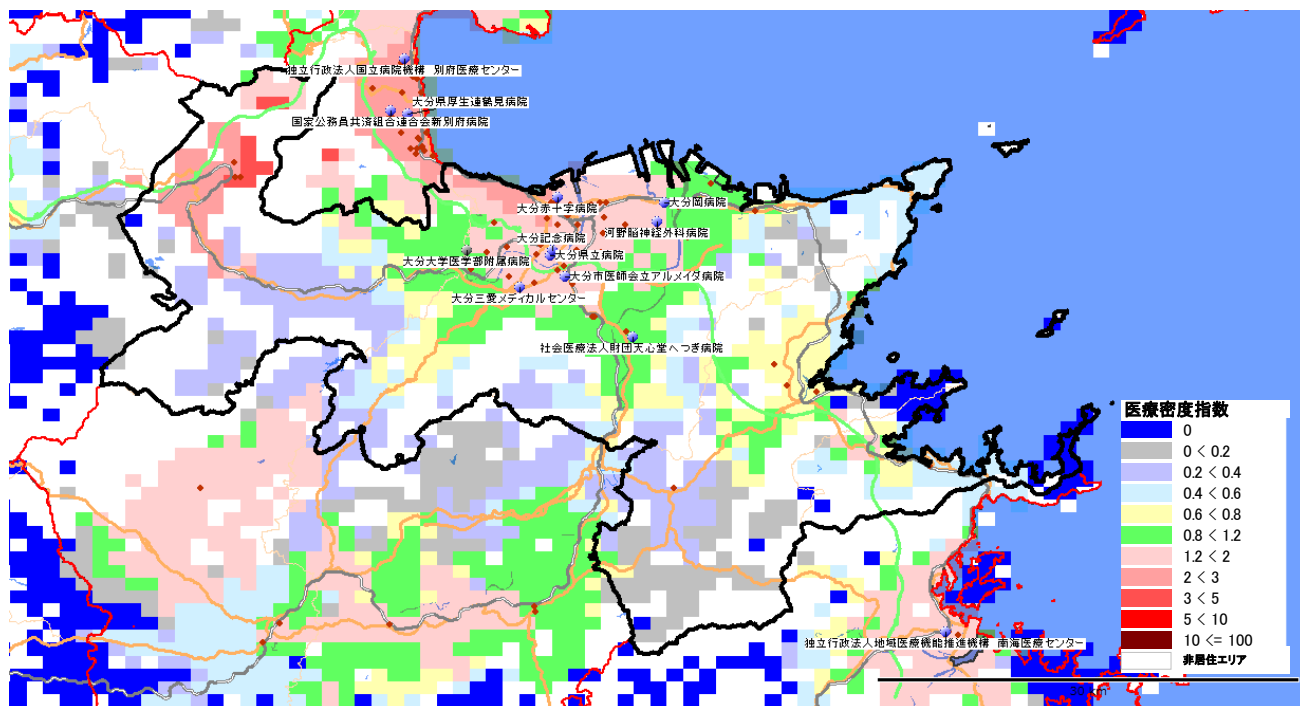
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均（95.5床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

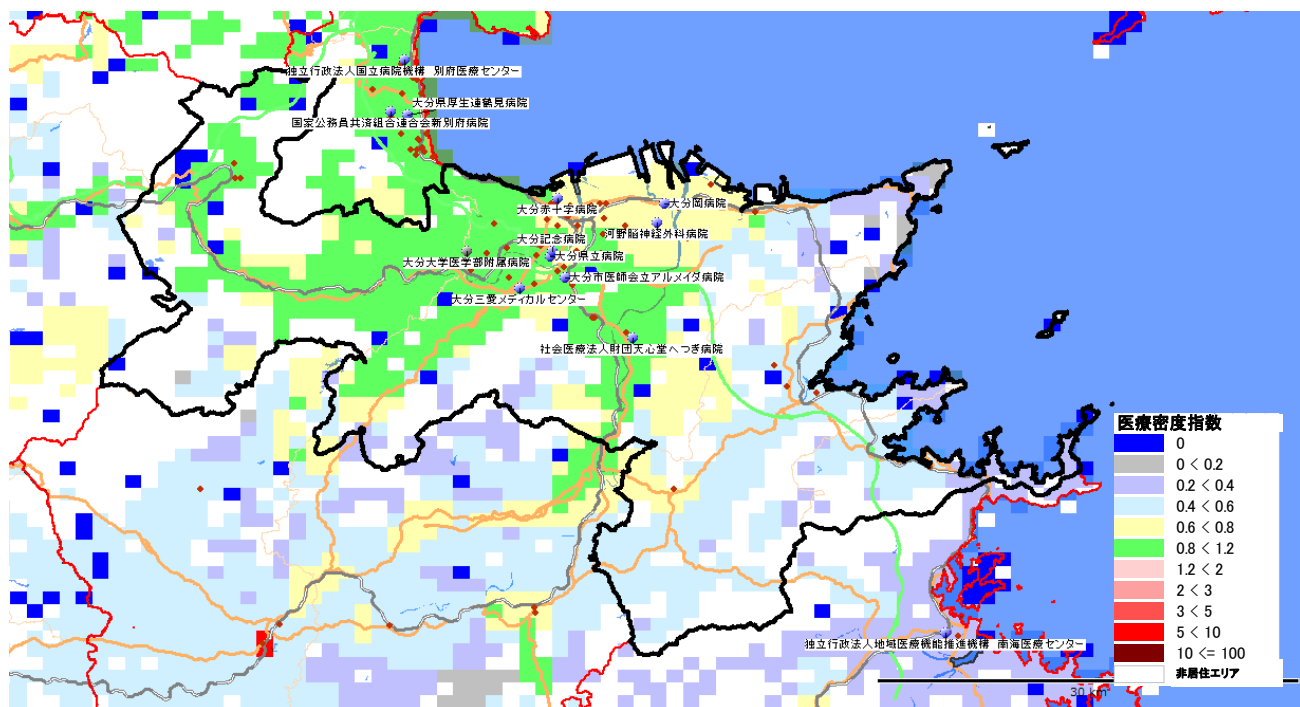
## 44. 大分県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 44-2-1 急性期医療密度指数マップ

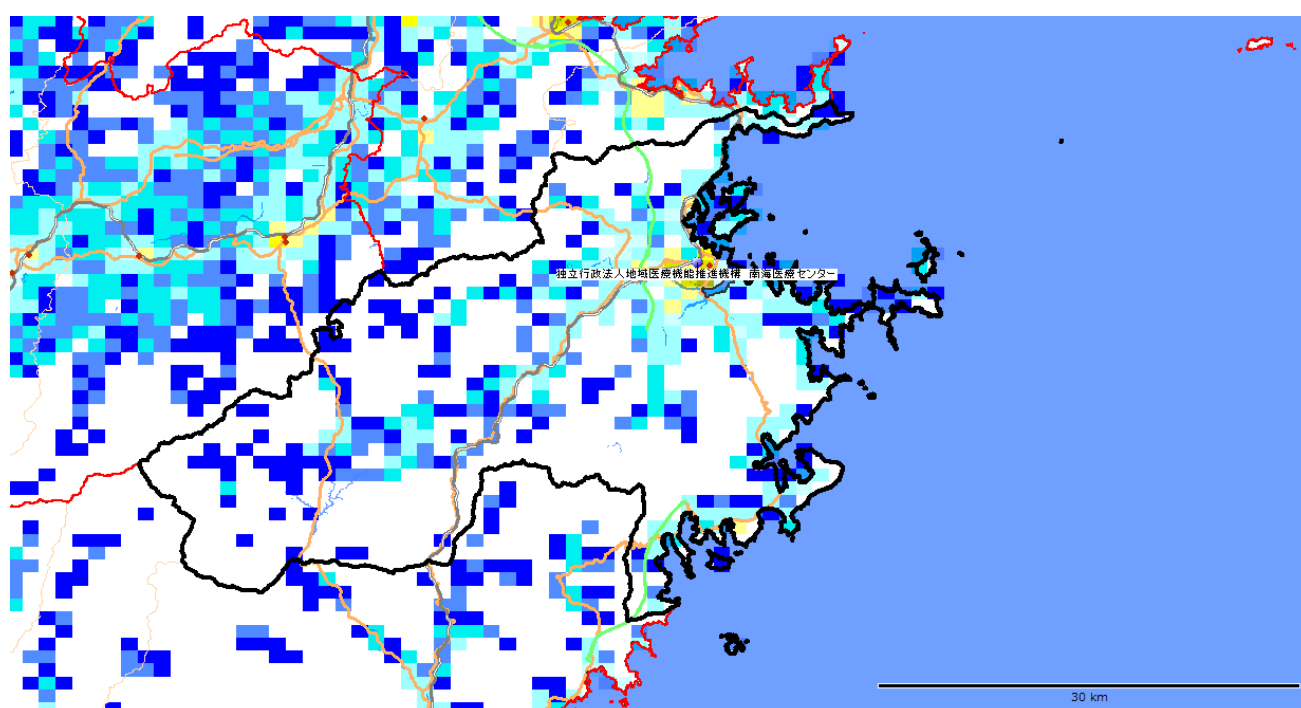


図表 44-2-2 慢性期医療密度指数マップ



<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

# 44-3. なんぶ南部医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> 佐伯市人口分布<sup>2</sup> (1km<sup>2</sup>区画単位)

区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 南部医療圏を1km<sup>2</sup>区画(1km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## 44. 大分県

### (南部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

#### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 南部(佐伯市)は、総人口約 73 千人(2015 年推計)、面積 904 km<sup>2</sup>、人口密度は 81 人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 南部の総人口は 2025 年に 64 千人へと減少し(2015 年比-12%)、2040 年に 50 千人へと減少する(2025 年比-22%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 15 千人が、2025 年にかけて 16 千人へと増加し(2015 年比+7%)、2040 年には 15 千人へと減少する(2025 年比-6%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 南部の一人当たり医療費(国保)は 349 千円(偏差値 60)、介護給付費は 275 千円(偏差値 57)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

#### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 南部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 1.05、一人当たり慢性期医療密度指数は 0.97 で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 46(病院医師数 47、診療所医師数 45)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにはほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 65 と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 68 で、一般病床は非常に多い。全身麻酔数の偏差値は 38 と少ない。南部には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 54 と療養病床数はやや多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 69 と非常に多く、回復期病床数は偏差値 77 と非常に多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 49 で精神病床数は全国平均レベルである。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 51 で診療所数は全国平均レベルである。

#### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 南部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1285 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 852 床(偏差値 49)、高齢者住宅等が 433 床(偏差値 45)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1084 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 49)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 55、特別養護老人ホーム 51、介護療養型医療施設なし(偏差値 40)、有料老人ホーム 42、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 52、サ高住 52 である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 38 と少なく、在宅療養支援病院は存在しない。

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実



介護職員（在宅）の合計は、276人（75歳以上1000人当たりの偏差値60）で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルを上回る。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は-8%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-9%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

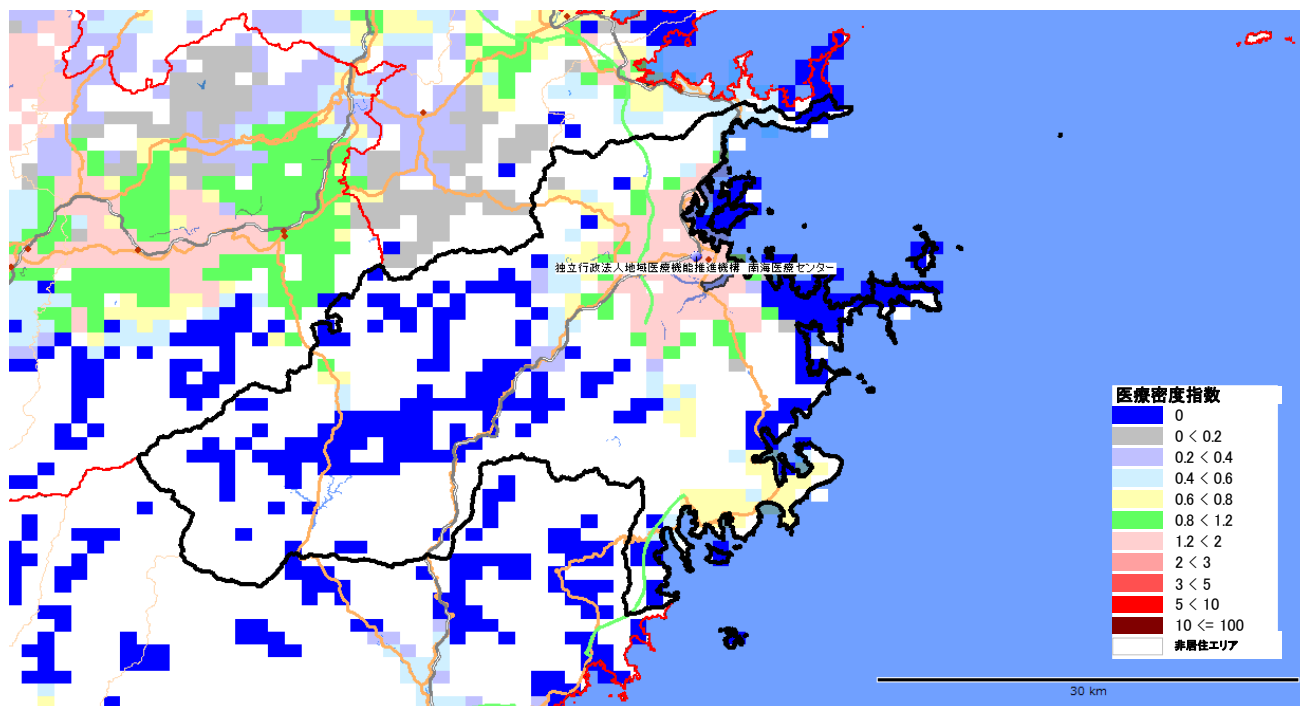
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均（95.5床）と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

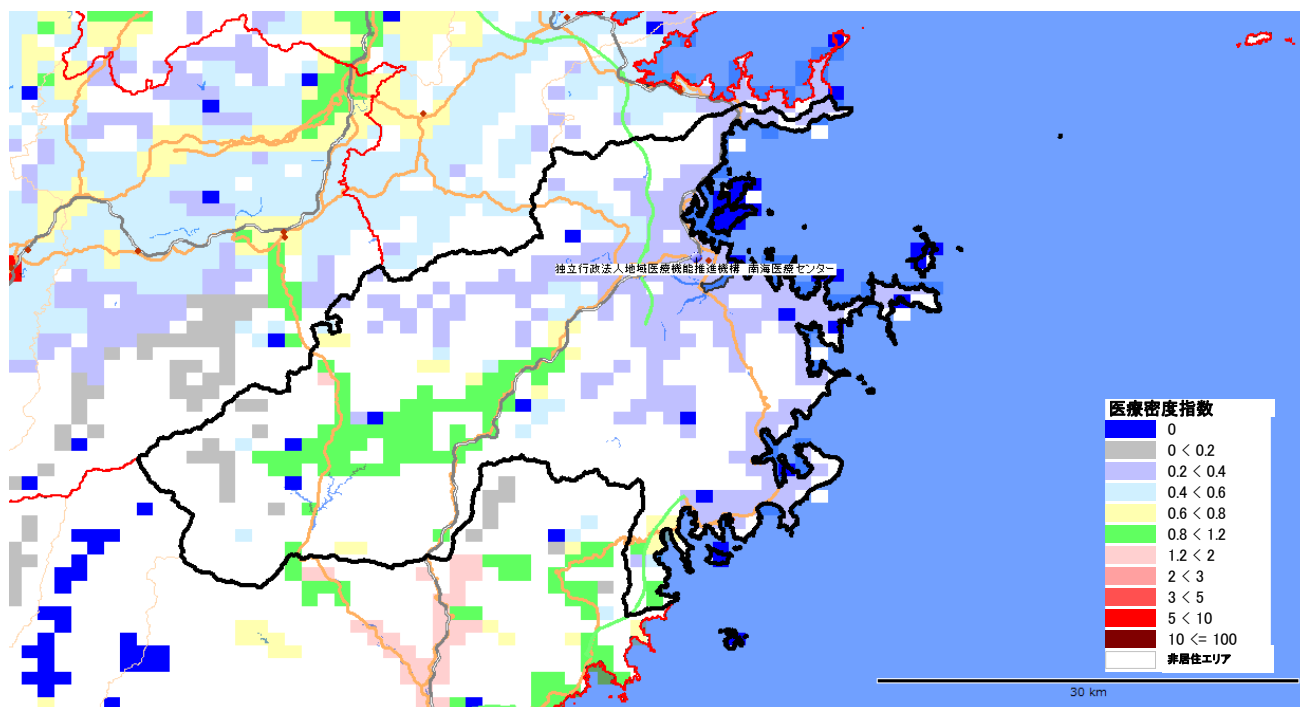
## 44. 大分県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 44-3-1 急性期医療密度指数マップ



図表 44-3-2 慢性期医療密度指数マップ

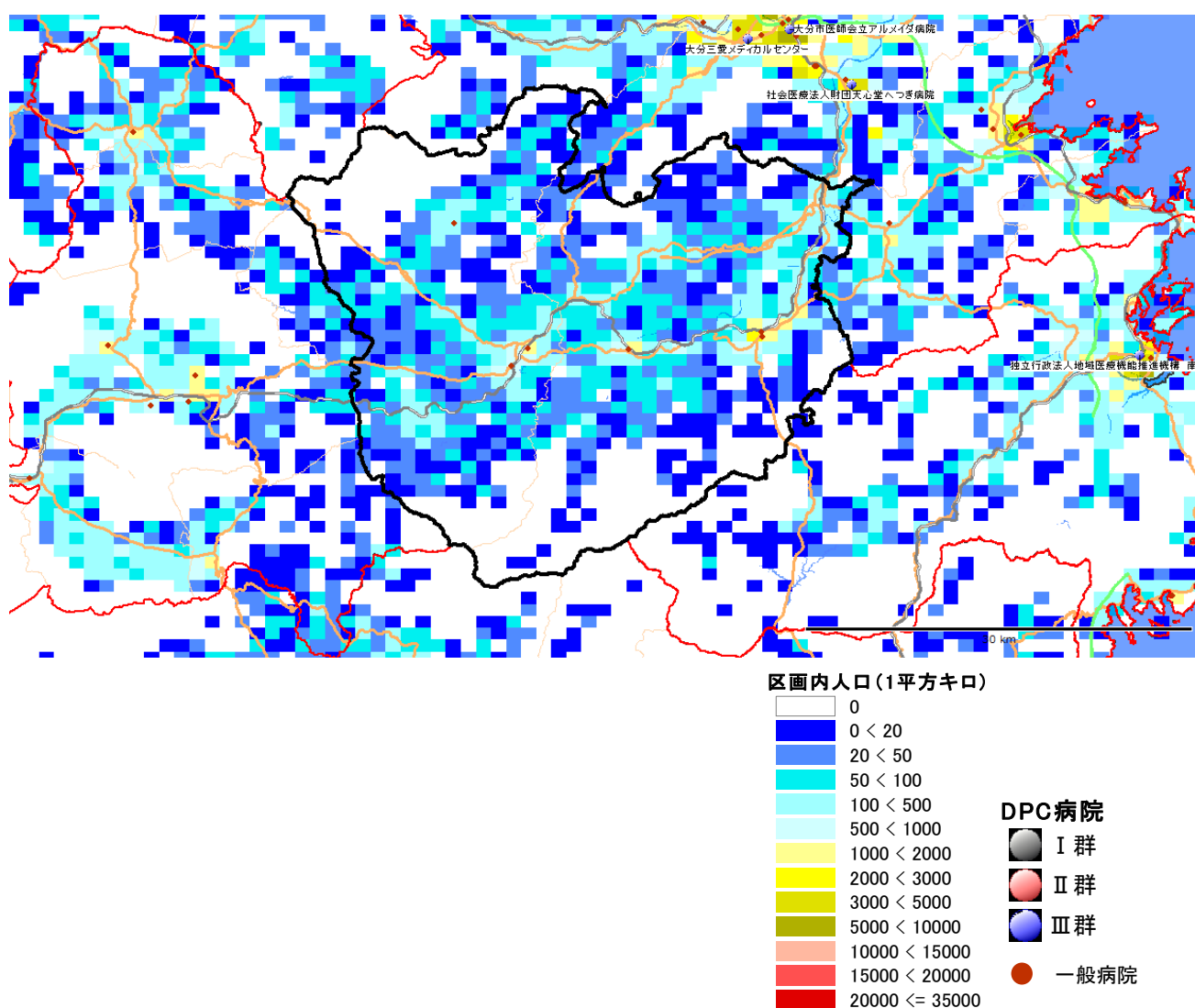


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

# 44-4. ほうひ 豊肥医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> 竹田市, 豊後大野市

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 豊肥医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省)地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## 44. 大分県

### (豊肥医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

#### 【地域の概要】

\*人口、面積など： 豊肥(竹田市)は、総人口約 59 千人(2015 年推計)、面積 1081 km<sup>2</sup>、人口密度は 55 人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

\*人口の将来予測： 豊肥の総人口は 2025 年に 51 千人へと減少し(2015 年比-14%)、2040 年に 39 千人へと減少する(2025 年比-24%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 16 千人が、2025 年にかけて 15 千人へと減少し(2015 年比-6%)、2040 年には 13 千人へと減少する(2025 年比-13%)ことが予想される。

\*医療費と介護給付費： 豊肥の一人当たり医療費(国保)は 406 千円(偏差値 73)、介護給付費は 334 千円(偏差値 73)であり、医療費、介護給付費ともに非常に高い。

#### 【医療の現状】

\*入院医療の充実度： 豊肥の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 0.87、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.13 で、急性期の医療も慢性期の医療も全国平均レベルである。

\*医師・看護師の現状： 総医師数の偏差値が 46(病院医師数 43、診療所医師数 53)と、総医師数はほぼ全国平均レベルであるが、病院医師数は少ない。総看護師数の偏差値は 60 と多い。

\*一般病床等の現状： 人口当たりの一般病床の偏差値は 56 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 39 と少ない。豊肥には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

\*療養病床の現状： 人口当たりの療養病床の偏差値は 50 と療養病床数は全国平均レベルである。

\*リハビリの現状： 総療法士数は偏差値 63 と多く、回復期病床数は偏差値 46 とやや少ない。

\*精神病床の現状： 人口当たりの精神病床の偏差値は 54 で精神病床数はやや多い。

\*診療所の現状： 人口当たりの診療所数の偏差値は 58 で診療所数は多い。

#### 【介護施設や在宅ケアの現状】

\*介護施設の現状： 豊肥の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1270 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 42)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1058 床(偏差値 57)、高齢者住宅等が 212 床(偏差値 34)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルを大きく下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1257 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 54)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 68、特別養護老人ホーム 49、介護療養型医療施設 49、有料老人ホームなし(偏差値 37)、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 53、サ高住 32 である。

\*在宅ケアの現状： 在宅療養支援診療所は偏差値 51 と全国平均レベルであり、在宅療養支援病院

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

は偏差値 61 と多い。介護職員（在宅）の合計は、222 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 52)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の 2040 年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は-1%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040 年の介護充足度指数は+16%であり、2040 年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でやや過剰ぎみである。

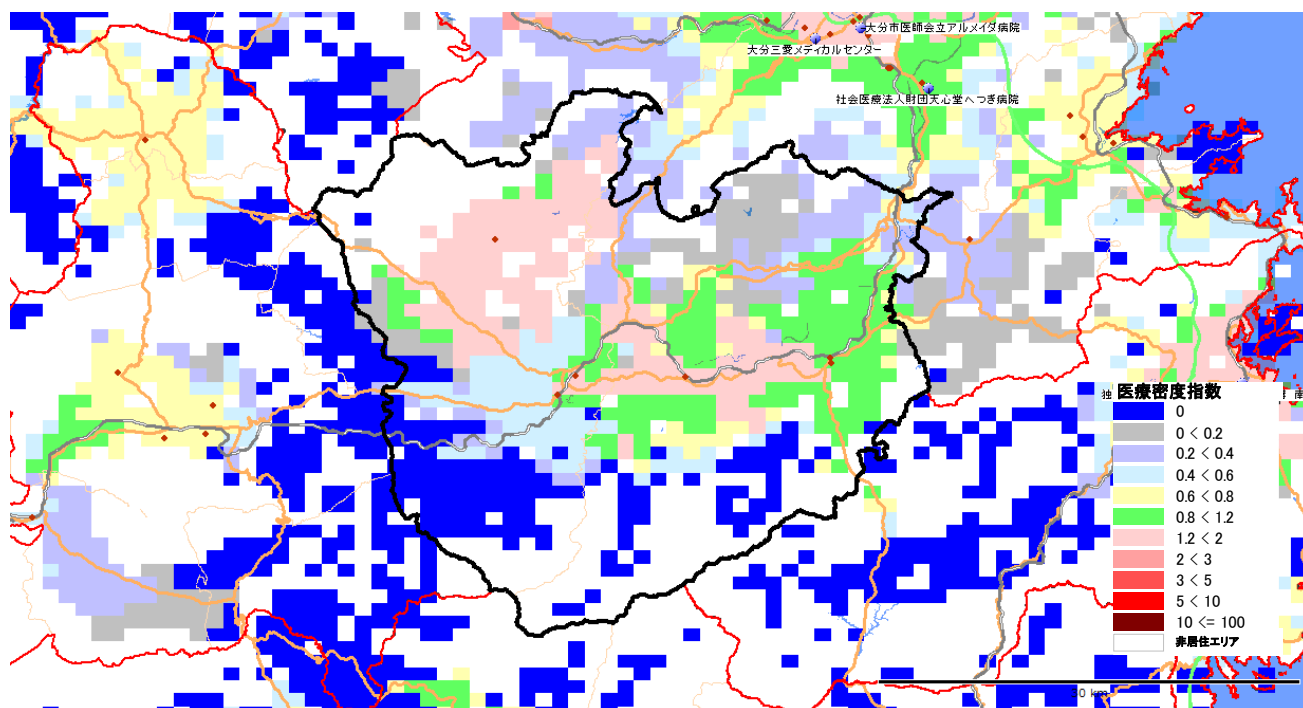
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の 75 歳 1,000 人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015 年の全国平均(95.5 床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

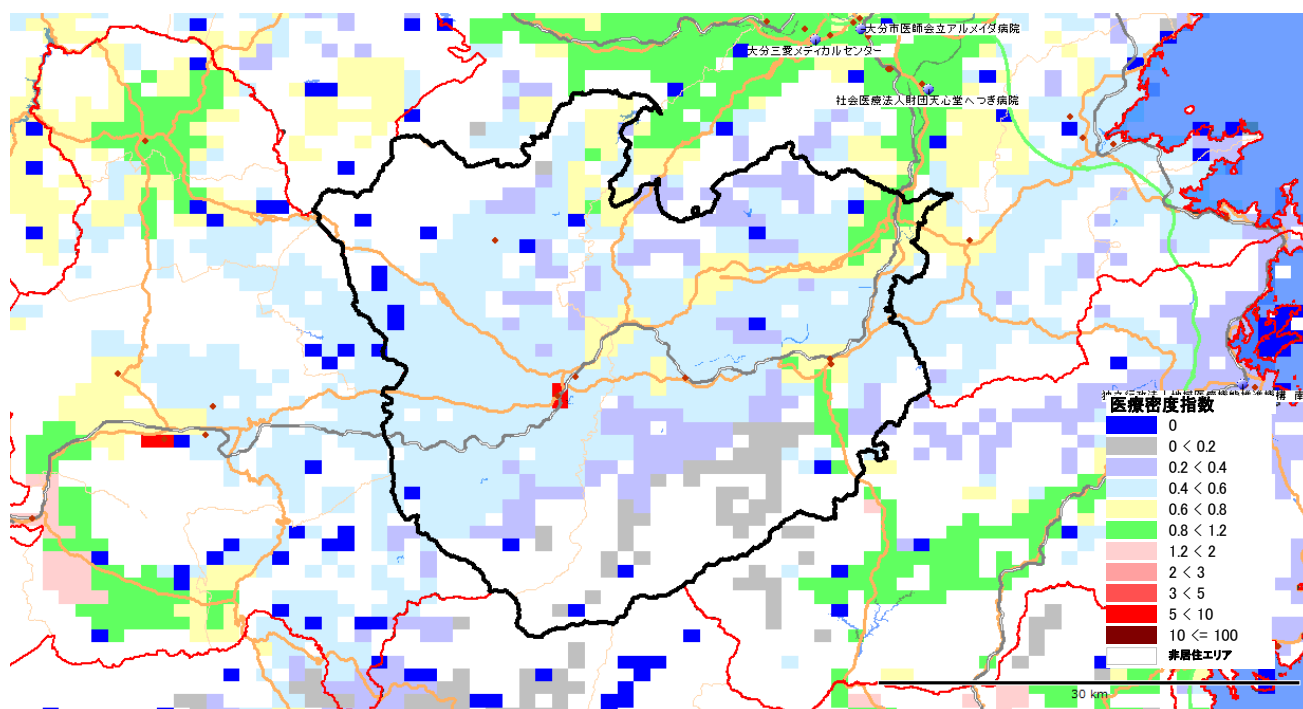
## 44. 大分県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 44-4-1 急性期医療密度指数マップ



図表 44-4-2 慢性期医療密度指数マップ

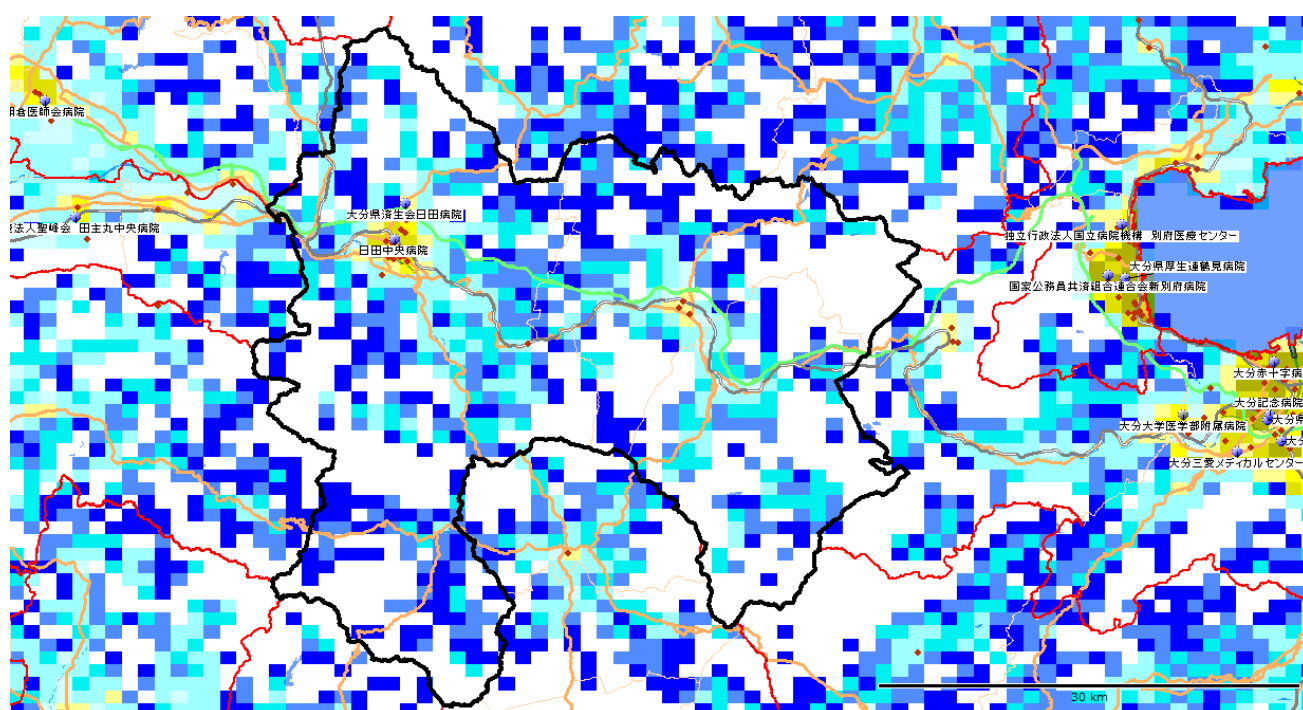


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

# 44-5. せいぶ 西部医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> 日田市,九重町,玖珠町

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



区画内人口(1平方キロ)



DPC病院



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 西部医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所:国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## 44. 大分県

### (西部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

#### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 西部(日田市)は、総人口約 93 千人(2015 年推計)、面積 1224 km<sup>2</sup>、人口密度は 76 人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 西部の総人口は 2025 年に 82 千人へと減少し(2015 年比-12%)、2040 年に 66 千人へと減少する(2025 年比-20%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 17 千人が、2025 年にかけて 19 千人へと増加し(2015 年比+12%)、2040 年には 18 千人へと減少する(2025 年比-5%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 西部の一人当たり医療費(国保)は 349 千円(偏差値 59)、介護給付費は 279 千円(偏差値 58)であり、医療費、介護給付費ともに高い。

#### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 西部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 0.76、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.28 で、急性期の医療は少ないが、慢性期の医療は充実している。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 46(病院医師数 47、診療所医師数 47)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 63 と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 55 で、一般病床はやや多い。全身麻酔数の偏差値は 40 と少ない。西部には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の病院はない。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 52 と療養病床数は全国平均レベルである。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 61 と多く、回復期病床数は偏差値 61 と多い。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 66 で精神病床数は非常に多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 52 で診療所数は全国平均レベルである。

#### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 西部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1346 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 39)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が 1062 床(偏差値 52)、高齢者住宅等が 284 床(偏差値 36)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅系は全国平均レベルを下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、1280 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 49)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 53、特別養護老人ホーム 51、介護療養型医療施設 48、有料老人ホーム 41、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 42、サ高住 40 である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 38 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 49 と

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実。



全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、207人(75歳以上1000人当たりの偏差値47)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや下回る。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：**現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は-16%であり、介護の充足度は低い。2040年の介護充足度指数は-17%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、高齢者施設・住宅の増設、あるいは相当する在宅のインフラ整備が必要である。

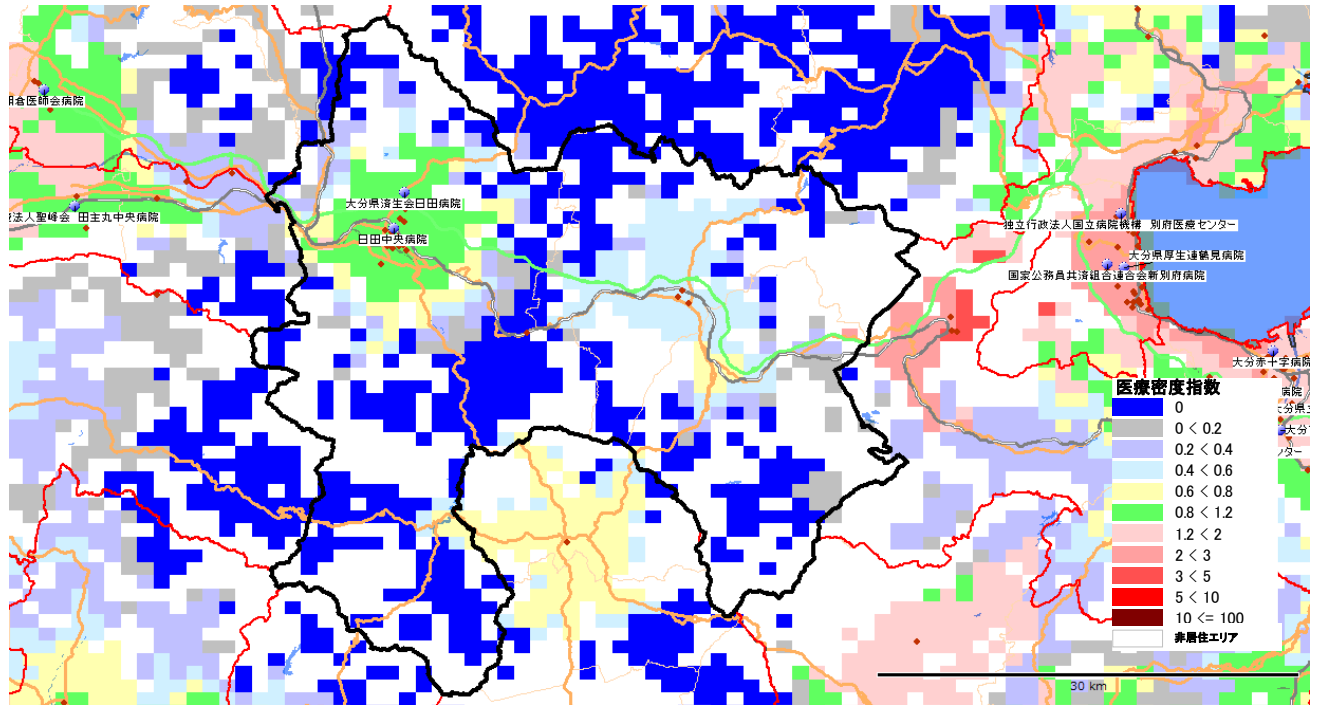
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推定)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

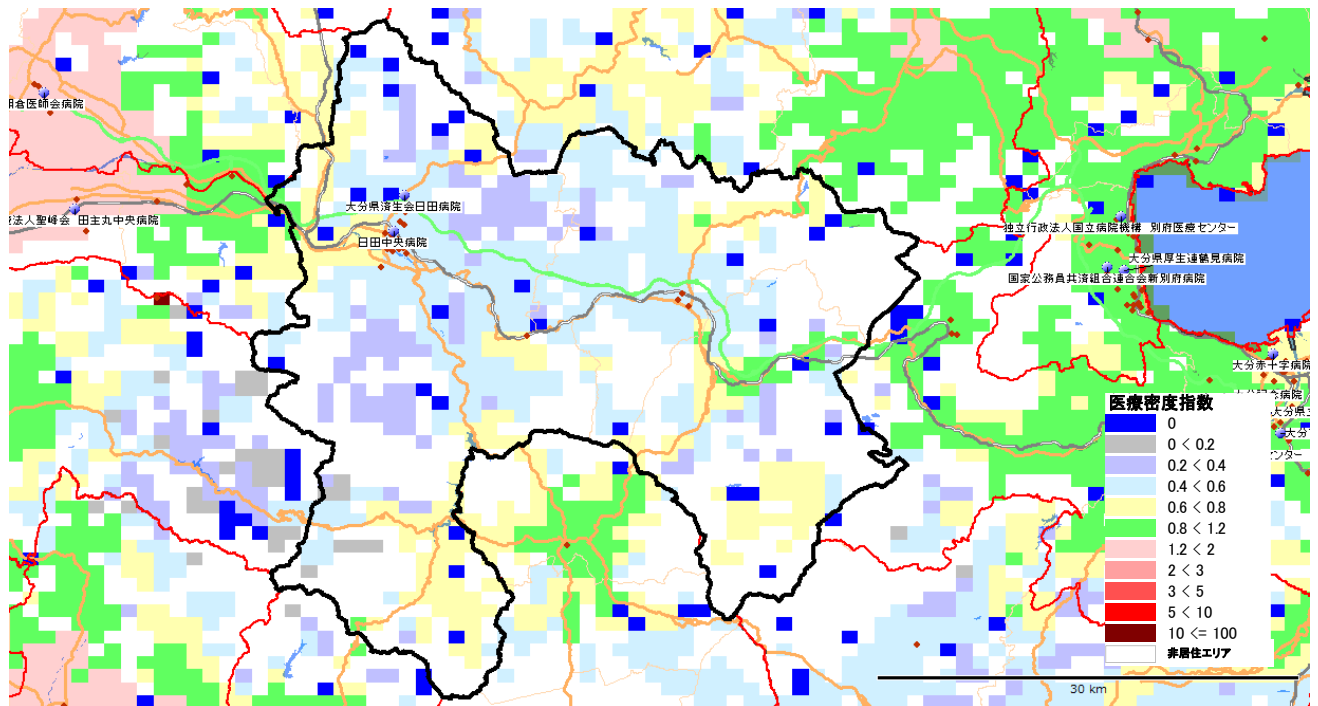
## 44. 大分県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 44-5-1 急性期医療密度指数マップ



図表 44-5-2 慢性期医療密度指数マップ

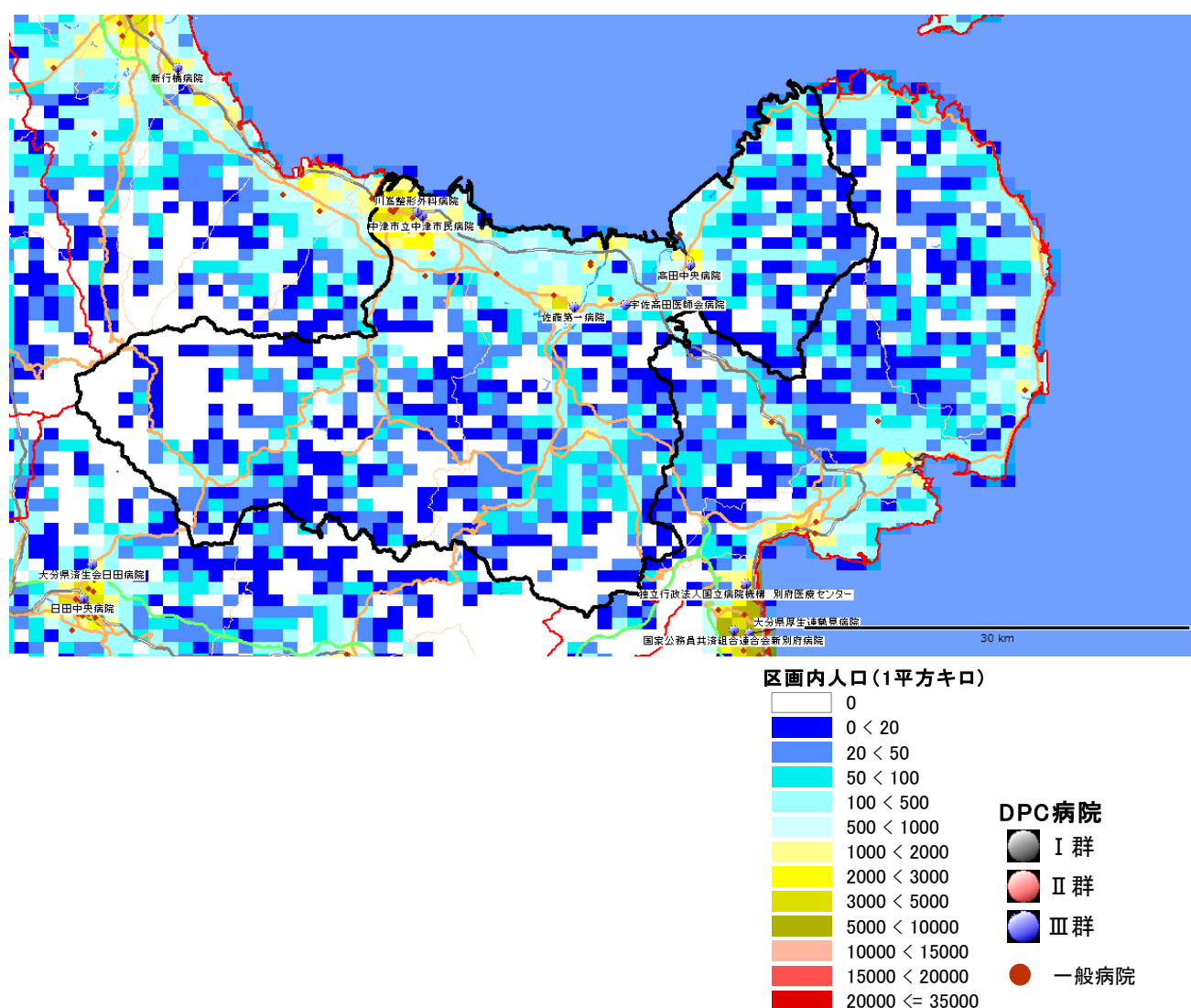


<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。

# ほくぶ 44-6. 北部医療圏

構成市区町村<sup>1</sup> [中津市](#), [豊後高田市](#), [宇佐市](#)

人口分布<sup>2</sup> (1 km<sup>2</sup>区画単位)



<sup>1</sup> 日本医師会 JMAP(地域医療情報システム)で地域別の人口動態、医療機関、介護施設の情報参照可能 <http://jmap.jp/> ネットで閲覧の場合、地域名をクリックするとリンク先に移動します。

<sup>2</sup> 北部医療圏を1 km<sup>2</sup>区画(1 km<sup>2</sup>メッシュ)で分割した各区画内の居住人口。赤色系統は人口が多く(10,000人/km<sup>2</sup>以上)、黄色系統は中間レベル(1,000~10,000人/km<sup>2</sup>)、青色系統は人口が少ない(1,000人/km<sup>2</sup>未満)。白色は非居住地。出所: 国勢調査(平成22年、総務省) 地図情報 GIS MarketAnalyzer ver.3.7 地図 PAREA シリーズ

## 44. 大分県

### (北部医療圏) 1. 地域ならびに医療介護資源の総括

(参照：資料編の図表)

#### 【地域の概要】

**\*人口、面積など：** 北部(中津市)は、総人口約 162 千人(2015 年推計)、面積 1137 km<sup>2</sup>、人口密度は 143 人/km<sup>2</sup>の過疎地域型二次医療圏である。

**\*人口の将来予測：** 北部の総人口は 2025 年に 150 千人へと減少し(2015 年比-7%)、2040 年に 129 千人へと減少する(2025 年比-14%)ことが予想される。一方、75 歳以上人口は、2015 年の 27 千人が、2025 年にかけて 30 千人へと増加し(2015 年比+11%)、2040 年には 28 千人へと減少する(2025 年比-7%)ことが予想される。

**\*医療費と介護給付費：** 北部の一人当たり医療費(国保)は 388 千円(偏差値 69)、介護給付費は 270 千円(偏差値 55)であり、医療費は非常に高く、介護給付費はやや高い。

#### 【医療の現状】

**\*入院医療の充実度：** 北部の一人当たり急性期医療密度指数<sup>3</sup>は 0.86、一人当たり慢性期医療密度指数は 1.27 で、急性期の医療は全国平均レベルであるが、慢性期の医療は充実している。

**\*医師・看護師の現状：** 総医師数の偏差値が 47(病院医師数 45、診療所医師数 51)と、総医師数、病院医師数、診療所医師数ともにはほぼ全国平均レベルである。総看護師数の偏差値は 60 と多い。

**\*一般病床等の現状：** 人口当たりの一般病床の偏差値は 58 で、一般病床は多い。全身麻酔数の偏差値は 44 と少ない。北部には、年間全身麻酔件数が 500 例以上の中津市立中津市民病院がある。

**\*療養病床の現状：** 人口当たりの療養病床の偏差値は 53 と療養病床数はやや多い。

**\*リハビリの現状：** 総療法士数は偏差値 55 とやや多く、回復期病床数は偏差値 46 とやや少ない。

**\*精神病床の現状：** 人口当たりの精神病床の偏差値は 54 で精神病床数はやや多い。

**\*診療所の現状：** 人口当たりの診療所数の偏差値は 50 で診療所数は全国平均レベルである。

#### 【介護施設や在宅ケアの現状】

**\*介護施設の現状：** 北部の総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2609 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 50)と全国平均レベルである。そのうち、介護保険施設の定員が 1788 床(偏差値 55)、高齢者住宅等が 821 床(偏差値 45)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅系は全国平均レベルをやや下回る。また、介護職員(介護施設等)の合計は、2003 人(75 歳以上 1000 人当たりの偏差値 49)で、75 歳以上人口当たりでは全国平均レベルである。

75 歳以上 1000 人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設 57、特別養護老人ホーム 51、介護療養型医療施設 54、有料老人ホーム 44、軽費ホームなし(偏差値 43)、グループホーム 49、サ高住 51 である。

**\*在宅ケアの現状：** 在宅療養支援診療所は偏差値 44 と少なく、在宅療養支援病院は偏差値 52 と

<sup>3</sup>その地域の住民が、どの程度の医療(急性期及び慢性期)を利用できるかの目安を示す指標。1.0 が全国平均、0.8 を下回ると少ない、0.6 を下回ると非常に少ない、1.2 以上充実、1.5 以上非常に充実

全国平均レベルである。介護職員（在宅）の合計は、420人(75歳以上1000人当たりの偏差値54)で、75歳以上人口当たりでは全国平均レベルをやや上回る。

#### 【医療と介護の需要予測】

**\*介護の2040年の需要予測：** 現在の介護充足度指数<sup>4</sup>は-2%であり、介護の充足度は全国平均レベルである。2040年の介護充足度指数は-5%であり、2040年に現在の全国平均レベルの高齢者施設・住宅の定員を確保するには、現在の高齢者施設・住宅数でほぼ対応可能である。

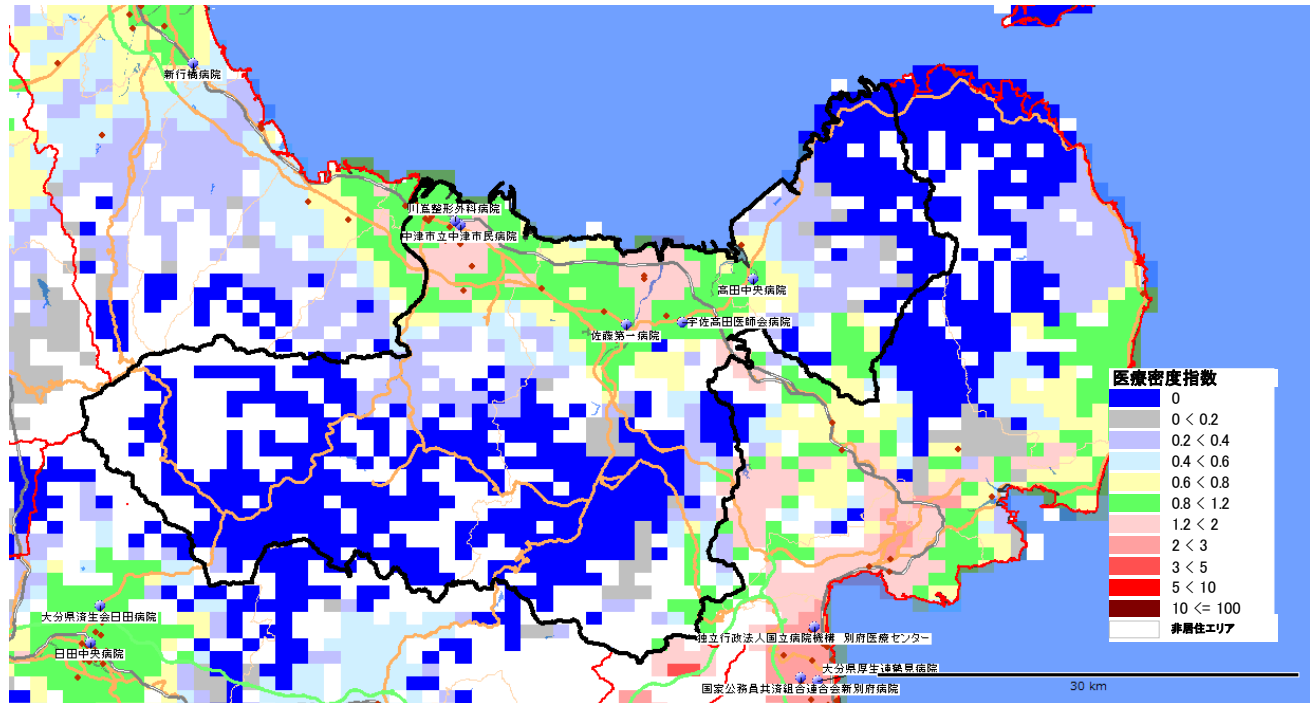
---

<sup>4</sup>高齢者住宅・施設の各地域の受入れ充足度を示す指標。各年度の75歳1,000人(推計)に対する高齢者住宅・施設のベッド数が、2015年の全国平均(95.5床)と比べて何%多いか少ないかを示す。集計対象は、介護三施設、軽費老人ホーム、グループホーム、有料老人ホーム、サービス付き高齢者賃貸住宅等である。

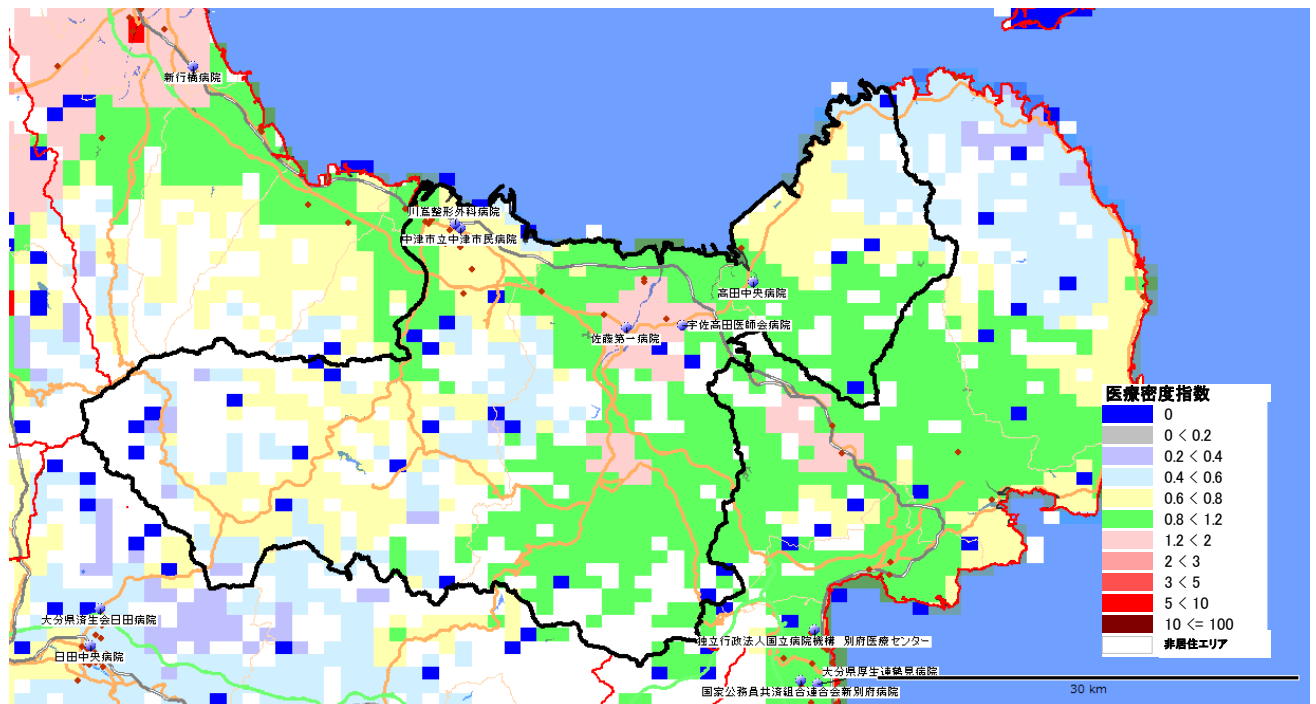
## 44. 大分県

### 2. 医療密度<sup>5</sup>

図表 44-6-1 急性期医療密度指数マップ



図表 44-6-2 慢性期医療密度指数マップ



<sup>5</sup>急性期医療密度、慢性期医療密度の定義、算出方法については序章を参照。